

# 平成 23 年度

## 環境省 省庁別財務書類

### 〔留意事項〕

- ・ 本財務書類は、「省庁別財務書類の作成基準」に基づいて作成しております。
- ・ 省庁別財務書類は、各省庁における財務情報の提供等を目的として一般会計を各省庁単位で区分し、所管の特別会計を合算し、各省庁に資産や負債が帰属すると擬制するなどの一定の仮定に基づいて作成するものであり、各省庁が会計的に独立しているものではない点にご留意下さい。
- ・ 省庁別財務書類を充分理解して頂くため、「省庁別財務書類の作成基準」及び各省庁の所掌する業務内容等も併せてご覧下さい。



# 目次

	ページ
<b>環境省 省庁別財務書類（一般会計・特別会計）</b>	
貸借対照表	1
業務費用計算書	2
資産・負債差額増減計算書	3
区分別収支計算書	4
注記	5
附属明細書	11
参考情報	
1 環境省の所掌する業務の概要	26
2 環境省の組織及び定員	27
3 環境省における会計・独立行政法人等間の財政資金の流れ	28
4 平成23年度歳入歳出決算の概要	29
5 公債関連情報	31
<b>環境省 省庁別連結財務書類</b>	
連結貸借対照表	35
連結業務費用計算書	36
連結資産・負債差額増減計算書	37
連結区分別収支計算書	38
注記	40
附属明細書	46
<b>環境省 一般会計省庁別財務書類</b>	
貸借対照表	57
業務費用計算書	58
資産・負債差額増減計算書	59
区分別収支計算書	60
注記	61
附属明細書	66
参考情報	79
1 環境省の所掌する業務の概要	
2 環境省の組織及び定員	
3 環境省における会計・独立行政法人等間の財政資金の流れ	
4 平成23年度一般会計の歳入歳出決算の概要	
5 公債関連情報	



## 貸 借 対 照 表

( 単位 : 百万円 )

	前会計年度 ( 平成23年 3月31日 )	本会計年度 ( 平成24年 3月31日 )		前会計年度 ( 平成23年 3月31日 )	本会計年度 ( 平成24年 3月31日 )
<b>&lt; 資産の部 &gt;</b>			<b>&lt; 負債の部 &gt;</b>		
現金・預金	10,711	18,674	未払金	25	14
未収金	408	442	未払費用	14	64
前払金	316	6	賞与引当金	671	695
前払費用	6	7	退職給付引当金	15,454	15,344
その他の債権等	18	8			
貸倒引当金	△ 164	△ 192			
有形固定資産	310,470	306,120			
国有財産(公共用 財産を除く)	308,774	303,986			
土地	269,770	267,135			
立木竹	1,907	1,812			
建物	14,186	13,882			
工作物	22,395	20,920			
船舶	2	1			
建設仮勘定	512	233			
物品	1,695	2,133	<b>負 債 合 計</b>	16,165	16,118
無形固定資産	58	46	<b>&lt; 資産・負債差額の部 &gt;</b>		
出資金	101,544	100,907	資産・負債差額	407,203	409,900
<b>資 産 合 計</b>	423,369	426,019	<b>負債及び資産・ 負債差額合計</b>	423,369	426,019

## 業務費用計算書

(単位：百万円)

	前会計年度 (自 平成22年 4月 1日) (至 平成23年 3月31日)	本会計年度 (自 平成23年 4月 1日) (至 平成24年 3月31日)
人件費	10,285	10,554
賞与引当金繰入額	671	695
退職給付引当金繰入額	830	756
補助金等	249,486	667,167
委託費	45,578	31,942
交付金	9,621	9,167
分担金	22	45
拠出金	4,027	6,421
独立行政法人運営費交付金	14,117	15,451
労働保険特別会計への繰入	89	80
庁費等	28,400	30,676
その他の経費	968	1,079
減価償却費	1,905	5,448
貸倒引当金繰入額	142	28
為替換算差損益	-	△ 3
資産処分損益	192	1,039
本年度業務費用合計	366,340	780,550

## 資産・負債差額増減計算書

(単位：百万円)

	前会計年度 (自 平成22年 4月 1日) (至 平成23年 3月31日)	本会計年度 (自 平成23年 4月 1日) (至 平成24年 3月31日)
I 前年度末資産・負債差額	390,858	407,203
II 本年度業務費用合計	△ 366,340	△ 780,550
III 財源	368,033	785,813
主管の財源	6,257	3,901
配賦財源	361,522	781,654
自己収入	253	257
IV 無償所管換等	4,644	967
V 資産評価差額	10,007	△ 3,534
VI 本年度末資産・負債差額	407,203	409,900

## 区分別収支計算書

(単位：百万円)

	前会計年度 (自 平成22年 4月 1日) (至 平成23年 3月31日)	本会計年度 (自 平成23年 4月 1日) (至 平成24年 3月31日)
<b>I 業務収支</b>		
1 財源		
主管の収納済歳入額	6,275	3,892
配賦財源	361,522	781,654
自己収入	119	237
前年度剰余金受入	13,176	10,711
財源合計	381,094	796,495
2 業務支出		
(1)業務支出(施設整備支出を除く)		
人件費	△ 11,889	△ 12,099
補助金等	△ 249,486	△ 667,167
委託費	△ 45,895	△ 31,632
交付金	△ 9,621	△ 9,167
分担金	△ 16	△ 51
拠出金	△ 4,027	△ 6,421
独立行政法人運営費交付金	△ 14,117	△ 15,451
労働保険特別会計への繰入	△ 83	△ 81
庁費等の支出	△ 28,732	△ 31,440
その他の支出	△ 975	△ 1,017
業務支出(施設整備支出を除く)合計	△ 364,846	△ 774,531
(2)施設整備支出		
土地に係る支出	△ 201	△ 72
立木竹に係る支出	△ 56	△ 60
建物に係る支出	△ 922	△ 714
工作物に係る支出	△ 3,843	△ 2,208
建設仮勘定に係る支出	△ 512	△ 233
施設整備支出合計	△ 5,536	△ 3,289
業務支出合計	△ 370,382	△ 777,820
業務収支	10,711	18,674
<b>II 財務収支</b>		
財務収支	-	-
本年度収支	10,711	18,674
翌年度歳入繰入	10,711	18,674
本年度末現金・預金残高	10,711	18,674



## 注 記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 外貨建金銭債権債務等の換算方法

会計年度末の為替レートにより換算を行っており、換算差額については、業務費用計算書の「為替換算差損益」に計上している。

#### (2) 減価償却の方法等

##### ① 有形固定資産

国有財産（公共用財産を除く）については、国有財産台帳の価格改定に適用される耐用年数に基づく定率法（平成 19 年 4 月 1 日以降に新築した建物は定額法）によっている。なお、残存価額まで到達している国有財産（公共用財産を除く）については、耐用年数を経過した翌会計年度から 5 年間で備忘価格 1 円まで均等償却を行っている。

物品については、「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」に定める耐用年数に基づく、残存価額を取得原価の 10%とした定額法によっている。なお、残存価額まで到達している物品については、耐用年数を経過した翌会計年度から 5 年間で備忘価格 1 円まで均等償却を行っている。

##### ② 無形固定資産

ソフトウェアについては、利用可能期間（5 年）の開発費等の累計額を資産価額とし、利用可能期間に基づく定額法によっている。

#### (3) 出資金の評価基準及び評価方法

##### ① 市場価格のないもの

全て「国有財産法」の規定により政府出資等として管理されている出資金であり、会計年度末における国有財産台帳価格によって評価している。

#### (4) 引当金の計上基準及び算定方法

##### ① 貸倒引当金

未収金等のうち一般債権については、過去 3 年間の貸倒実績率に基づく回収不能見込額を計上している。履行期限到来等債権等の特定の債権については、個別の債権ごとの回収可能性を勘案した回収不能見込額を計上している。

##### ② 賞与引当金

6 月支給分の期末手当及び勤勉手当の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分（期末手当及び勤勉手当の 6 月支給分の 4/6）を計上している。

##### ③ 退職給付引当金

退職手当に係る退職給付引当金については、自己都合による期末要支給額を、次の計算方法により計上している。

- ・基本額 … 勤続年数別の職員数 × 平均給与 × 自己都合退職手当支給率
- ・調整額 … 「国家公務員退職手当法」第 6 条の 4 に定められた区分別の職員数 × 想定される調整月額単価 × 60 ヶ月

国家公務員共済年金のうち、整理資源（昭和 34 年 10 月前の恩給公務員期間に係る給付分）に係る引当金については、将来給付見込額の割引現在価値を計上している。

「国家公務員災害補償法」に基づく補償のうち、遺族補償年金に係る引当金については、「支給率×平均給与×割引率」により算出し、遺族特別給付金（年金）に係る引当金については、「遺族補償年金に係る引当金の額×特別支給率」により算出した額を計上している。

#### (5) その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

##### ① 消費税等の会計処理方法

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

##### ② 退職給付引当金の算定において用いる平均給与上昇率及び割引率について

- ・平均給与上昇率 : 2.5%

(平成 21 年財政検証で用いられている長期的な賃金上昇率による)

・割引率 : 4.1%

(平成 21 年財政検証で用いられている長期的な運用利回りによる)

## 2 重要な会計方針の変更

### (1) 固定資産の評価基準の改訂

本会計年度より、国有財産（公共財産を除く）及び物品について、残存価額まで到達したものにかかる翌会計年度から備忘価格 1 円までの 5 年間均等償却額を業務費用計算書上の減価償却費として処理している。この変更は、国有財産台帳の価格改定に関する評価要領が改定（平成 22 年 5 月 31 日財理第 1874 号）されたこと等による。

なお、この変更により、本会計年度の貸借対照表において、国有財産（公共用財産を除く）が 1,151 百万円、物品が 104 百万円減少し、本会計年度の業務費用計算書において、減価償却費が 1,256 百万円増加している。

## 3 重要な後発事象

### (1) 各省庁の組織・機構の大幅な変更

① 平成 24 年 9 月、環境省の外局として原子力規制委員会が設置された。

② 一般会計に所属する権利義務の一部については、「特別会計に関する法律の一部を改正する法律」（平成 24 年法律第 15 号）の規定に基づき、翌年度以降、東日本大震災復興特別会計に帰属することとされている。

## 4 偶発債務

### (1) 係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているもの

(単位：百万円)

訴訟の略称	請求金額	事件番号	訴訟の概要
新潟水俣病第3次訴訟	156	平成19年 (ワ)第279号 他	阿賀野川周辺に居住していた原告が、新潟水俣病に罹患した患者であるとして、国、新潟県及び昭和電工株式会社に対して損害賠償金の支払いを求めるもの。
互助会訴訟	228	平成19年 (ワ)第1355号	「水俣病被害者互助会」に所属する原告が、水俣病に罹患した患者であるとして、国、熊本県及びチッソ株式会社に対して損害賠償金の支払いを求めるもの。
種の保存法関係損害賠償請求	0	平成22年 (ワ)第1111号	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」に係る登録の取消しを受けた原告が、国及び財団法人自然環境研究センターに対して損害賠償金の支払いを求めるもの。
合計	384		

(注) 訴訟の見込、結果にかかわらず、平成24年3月31日現在の請求金額を記載している。

## 5 翌年度以降支出予定額

### (1) 歳出予算の繰越し

歳出予算の繰越しに係る翌年度の支出予定額

一般会計 128,702 百万円

エネルギー対策特別会計 1,464 百万円

(エネルギー需給勘定、うち環境省分)

合計 130,166 百万円

### (2) 国庫債務負担行為

国庫債務負担行為による翌年度以降に係る支出予定額

一般会計	10,419 百万円
エネルギー対策特別会計 (エネルギー需給勘定、うち環境省分)	28,519 百万円
合計	38,938 百万円

## 6 追加情報

### (1) 合算する特別会計

省庁別財務書類においては、以下の特別会計を合算している。

- ・エネルギー対策特別会計（エネルギー需給勘定、うち環境省分）

### (2) 出納整理期間

出納整理期間が設けられており、出納整理期間中の現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としている。

### (3) 貸倒引当金を計上している債権のうち、徴収可能性に重大な懸念が生じているもの

債権の種類：国有財産貸付に係る債権

懸念の内容：納付期限を超えての長期滞納、相手先の倒産

金額：国有財産貸付に係る債権 141 百万円

債権の種類：弁償及び返納金に係る債権

懸念の内容：納付期限を超えての長期滞納

金額：弁償及び返納金債権 167 百万円

### (4) 業務費用計算書における収益の計上

「為替換算差損益」において、為替換算差益 3 百万円が計上されている。

### (5) 表示科目の説明

#### ① 貸借対照表

#### ア 資産の部

- ・「現金・預金」には、日本銀行預金を計上している。
- ・「未収金」には、国有財産貸付に係る債権、弁償及び返納金債権等を計上している。
- ・「前払金」には、繰越した国立公園等整備事業の設計業務で前金払いを行った額を計上している。
- ・「前払費用」には、翌年度以降分の自賠責保険料等を計上している。
- ・「その他の債権等」には、財政投融资特別会計特定国有財産整備勘定への前渡不動産を計上している。
- ・「貸倒引当金」には、未収金に対する貸倒見積額を計上している。
- ・「国有財産（公共用財産を除く）」には、建設仮勘定を除き、国有財産台帳価格を計上している。
- ・「土地」には、主に新宿御苑等の国民公園及び千鳥ヶ淵戦没者墓苑並びに国立公園内の環境省所管地等を計上している。
- ・「立木竹」には、主に国立公園内のサクラ、クロマツ、ユリの木、クスノキ等を計上している。
- ・「建物」には、主に国立公園内の博物展示施設（ビジターセンター）、公衆トイレ及び地方出先機関の事務所建物等を計上している。
- ・「工作物」には、主に国立公園内の歩道（木道）、野営場、休憩舎及び標識等を計上している。
- ・「船舶」には、主に皇居外苑管理事務所のボート等を計上している。
- ・「建設仮勘定」には、将来的に国の資産となるべき事業（主に国立公園等における園地、野営場等の整備及び長距離自然歩道の整備等）について、対象年度末時点における既支払額を計上している。
- ・「物品」には、取得価格（見積価格）が 50 万円以上の物品について、取得価格から減価償却費相当額を控除した後の価額で計上している。
- ・「無形固定資産」には、電話加入権等については取得価格、ソフトウェア等については取得に要した費用又は国有財産台帳価格から減価償却費相当額を控除した後の価額で計上している。

- ・「出資金」には、国有財産として管理されている政府出資のうち、政策目的をもって保有しているものを計上している。

#### イ 負債の部

- ・「未払金」には、子ども手当に係る未払額を計上している。
- ・「未払費用」には、職員に係る人件費や事業者に対する未払額等を計上している。
- ・「賞与引当金」には、6月支給の期末手当・勤勉手当に係る本会計年度分を計上している。
- ・「退職給付引当金」には、退職手当のほか、整理資源、国家公務員災害補償年金に係る引当金を計上している。

#### ② 業務費用計算書

- ・「人件費」には、決算書の用途別分類が「人件費」に該当するもののうち職員等に係るもの（職員の手当、非常勤職員の手当及び休職者の手当等）及び決算書の用途別分類が「補助費・委託費」に該当するもののうち国家公務員共済組合負担金等として支出した額に、子ども手当の未払金や退職手当、賞与及び国家公務員災害補償年金に関する引当金等の発生主義による調整を行ったものを計上している。
- ・「賞与引当金繰入額」には、6月支給の期末手当及び勤勉手当の支給見込額のうち当該年度に帰属する部分を計上している。
- ・「退職給付引当金繰入額」には、退職給付引当金への繰入額を計上している。
- ・「補助金等」には、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第22条の規定により、災害その他の事由により特に必要となった廃棄物の処理を行うために要する費用の一部補助等に係る支出額を計上している。
- ・「委託費」には、地球温暖化防止を目的とした調査及び温暖化防止活動支援事業等を民間団体等へ委託した額等を計上している。
- ・「交付金」には、独立行政法人環境再生保全機構に対して「公害健康被害の補償等に関する法律」に基づいて交付した額を計上している。
- ・「分担金」には、国際再生可能エネルギー機関に対する分担金を計上している。
- ・「拋出金」には、生物多様性条約事務局が行う生物多様性保全の取組や持続可能な遺伝自然利用の事例収集等の支援に必要な経費等の拋出額を計上している。
- ・「独立行政法人運営費交付金」には、独立行政法人国立環境研究所及び独立行政法人環境再生保全機構に対する運営費交付金を計上している。
- ・「労働保険特別会計への繰入」には、労働保険特別会計に要する費用の財源に充てるため、労働保険特別会計への繰入額を計上している。
- ・「庁費等」には、決算書の用途別分類が「物件費」及び「施設費」に該当するもののうち、他の科目で計上されていないものであって資産計上されていないものを計上している。
- ・「その他の経費」には、決算書の用途別分類が「旅費」及び「その他」に該当するもの並びに単独の科目で表示するには金額の少ないもの等を計上している。
- ・「減価償却費」には、有形固定資産及び無形固定資産に係る減価償却費を計上している。
- ・「貸倒引当金繰入額」には、債権等の貸倒れに伴う費用及び損失の見込額のうち、当該年度に係る額を計上している。
- ・「為替換算差損益」には、外貨建金銭債権債務の換算差額を計上している。
- ・「資産処分損益」には、有形固定資産及び無形固定資産等の除却に伴い生じた損益を計上している。

#### ③ 資産・負債差額増減計算書

- ・「前年度末資産・負債差額」には、前年度の貸借対照表の「資産・負債差額」の額を計上している。
- ・「本年度業務費用合計」には、業務費用計算書の「本年度業務費用合計」の額を計上している。
- ・「主管の財源」には、国立公園及び国民公園の環境省所管地においてホテル等を営む者からの土地使用料及び新宿御苑の入園料等を計上している。
- ・「配賦財源」には、環境省所管歳出決算上の支出済歳出額と環境省主管歳入決算上の収納済歳入

額との差額を計上している。

- ・「自己収入」には雑収入を計上している。
- ・「無償所管換等」には、国有財産の無償所管換額、国有財産台帳の誤謬訂正額等を計上している。
- ・「資産評価差額」には、出資金の評価差額（強制評価減に係るものを除く）及び国有財産の台帳価格の改定に伴う評価差額等を計上している。
- ・「本年度末資産・負債差額」には、本年度の貸借対照表の「資産・負債差額」の額を計上している。

#### ④ 区分別収支計算書

##### ア 業務収支

- ・「主管の収納済歳入額」には、国立公園及び国民公園の環境省所管地においてホテル等を営む者からの土地使用料及び新宿御苑の入園料等を計上している。
- ・「配賦財源」には、環境省所管歳入歳出決算上の支出済歳出額と収納済歳入額の差額を計上している。
- ・「自己収入」には、雑収入を計上している。
- ・「前年度剰余金受入」には、エネルギー対策特別会計の前年度剰余金を計上している。
- ・「人件費」には、決算書の使途別分類が「人件費」に該当するもののうち職員に係るもの（職員の手当、非常勤職員の手当及び休職者の手当等）及び決算書の使途別分類が「補助費・委託費」に該当するもののうち国家公務員共済組合負担金等として支出した額を計上している。
- ・「補助金等」には、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第22条の規定により、災害その他の事由により特に必要となった廃棄物の処理を行うために要する費用の一部補助等に係る支出額を計上している。
- ・「委託費」には、地球温暖化防止を目的とした調査及び温暖化防止活動支援事業等を民間団体等へ委託した額等を計上している。
- ・「交付金」には、独立行政法人環境再生保全機構に対して「公害健康被害の補償等に関する法律」に基づいて交付した額を計上している。
- ・「分担金」には、国際再生可能エネルギー機関に対する分担金を計上している。
- ・「拠出金」には、生物多様性条約事務局が行う生物多様性保全の取組や持続可能な遺伝自然利用の事例収集等の支援に必要な経費等の拠出額を計上している。
- ・「独立行政法人運営費交付金」には、独立行政法人国立環境研究所及び独立行政法人環境再生保全機構に対する運営費交付金を計上している。
- ・「労働保険特別会計への繰入」には、労働保険特別会計に要する費用の財源に充てるため、労働保険特別会計への繰入額を計上している。
- ・「庁費等の支出」には、決算書の使途別分類が「物件費」及び「施設費」に該当の支出のうち、他の科目で計上されていないものを計上している。
- ・「その他の支出」には、決算書の使途別分類が「旅費」及び「その他」に該当する支出並びに単独の科目で表示するには金額の少ないもの等を計上している。
- ・「土地に係る支出」には、当該年度の土地の取得に係る支出額を計上している。
- ・「立木竹に係る支出」には、当該年度の立木竹取得に係る支出額を計上している。
- ・「建物に係る支出」には、当該年度の建物取得に係る支出額を計上している。
- ・「工作物に係る支出」には、当該年度の工作物の取得に係る支出額を計上している。
- ・「建設仮勘定に係る支出」には、当該年度の建設仮勘定に係る支出額を計上している。
- ・「業務収支」には、財源合計から業務支出合計を控除した額を計上している。

##### イ 本年度収支以下の区分

- ・「本年度収支」には、業務収支と財務収支を合計した額を計上している。
- ・「翌年度歳入繰入」には、「本年度収支」を計上している。
- ・「本年度末現金・預金残高」には、「翌年度歳入繰入」を計上している。計上している額は、貸借

対照表の「現金・預金」と一致する。

(6) その他省庁の財務内容を理解するために特に必要と考えられる情報

- ① 百万円未満切り捨てのため、合計が一致しないことがある。
- ② 百万円未満の計数がある場合には「0」で表示し、該当計数が皆無の場合には「-」で表示している。
- ③ 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の影響による国有財産の損害見積額は 219 百万円である（平成 24 年 9 月末時点において報告している国有財産の滅失又は損傷の通知等に基づき集計した額）。

附属明細書

1 貸借対照表の内容に関する明細

(1) 会計別の資産及び負債の明細

(単位：百万円)

	一般会計	エネルギー対 策特別会計	相殺消去	合算合計
<資産の部>				
現金・預金	-	18,674	-	18,674
未収金	283	158	-	442
前払金	6	-	-	6
前払費用	7	-	-	7
その他の債権等	8	-	-	8
貸倒引当金	△ 34	△ 158	-	△ 192
有形固定資産	306,120	-	-	306,120
固有財産（公共用財産を除く）	303,986	-	-	303,986
土地	267,135	-	-	267,135
立木竹	1,812	-	-	1,812
建物	13,882	-	-	13,882
工作物	20,920	-	-	20,920
船舶	1	-	-	1
建設仮勘定	233	-	-	233
物品	2,133	-	-	2,133
無形固定資産	46	-	-	46
出資金	100,907	-	-	100,907
<b>資産合計</b>	<b>407,345</b>	<b>18,674</b>	<b>-</b>	<b>426,019</b>
<負債の部>				
未払金	14	-	-	14
未払費用	64	-	-	64
賞与引当金	695	-	-	695
退職給付引当金	15,344	-	-	15,344
<b>負債合計</b>	<b>16,118</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>16,118</b>
<資産・負債差額の部>				
資産・負債差額	391,226	18,674	-	409,900

(2) 資産項目の明細

① 現金・預金の明細

(単位：百万円)

内容	本年度末残高
政府預金（日本銀行預金）	18,674
<b>合計</b>	<b>18,674</b>

② 未収金の明細

(単位：百万円)

内容	相手先	本年度末残高
固有財産貸付	土地等使用許可者（民間団体）	141
弁償及び返納金	地方公共団体、民間団体等	284
延滞金	民間団体等	15
雑入	民間団体等	0
<b>合計</b>		<b>442</b>

③ その他の債権等の明細

(単位：百万円)

債権の種類	相手先	本年度末残高	債権の内容等
前渡不動産	財政投融资特別会計特定国有財産整備勘定	8	新施設の引渡しを受けていないが、旧施設を相手先に引継いだもの
合計		8	

④ 貸倒引当金の明細

(単位：百万円)

区分	貸付金等の残高			貸倒引当金の残高			摘要
	前年度末残高	本年度増減額	本年度末残高	前年度末残高	本年度増減額	本年度末残高	
未収金	408	33	442	164	28	192	過去3年間の貸倒実績率に基づき算定し、一部は個別の債権ごとの回収可能性を勘案した回収不能見込額を計上している。
徴収停止債権	-	-	-	-	-	-	
履行期限到来等債権	408	33	442	164	28	192	
上記以外の債権	0	△0	-	-	-	-	
合計	408	33	442	164	28	192	

⑤ 固定資産の明細

(単位：百万円)

区分	前年度末残高	本年度増加額	本年度減少額	本年度減価償却額	評価差額 (本年度発生分)	本年度末残高
(有形固定資産)						
国有財産(公共用財産除く)	308,774	4,770	1,516	5,144	△ 2,898	303,986
行政財産	308,774	4,770	1,516	5,144	△ 2,898	303,986
土地	269,770	111	-	-	△ 2,745	267,135
立木竹	1,907	60	2	-	△ 152	1,812
建物	14,186	1,434	536	1,202	-	13,882
工作物	22,395	2,930	464	3,941	-	20,920
船舶	2	-	-	0	-	1
建設仮勘定	512	233	512	-	-	233
物品	1,695	760	35	286	-	2,133
小計	310,470	5,531	1,552	5,430	△ 2,898	306,120
(無形固定資産)						
国有財産	3	-	-	-	0	3
行政財産	3	-	-	-	0	3
特許権	3	-	-	-	0	3
ソフトウェア	37	4	-	17	-	24
電話加入権	18	0	0	-	-	18
小計	58	4	0	17	0	46
合計	310,528	5,535	1,552	5,448	△ 2,897	306,166

(注) 本年度減少額には、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による減少額が含まれている。



⑥ 出資金の明細

ア 出資金の増減の明細

(単位：百万円)

法人名等	前年度末残高	評価差額の戻入	本年度増加額	本年度減少額	評価差額(本年度発生分)	強制評価減	本年度末残高
【市場価格のないもの】							
○株式会社							
日本環境安全事業株式会社	-	-	-	-	-	-	-
○独立行政法人							
独立行政法人国立環境研究所	30,910	7,755	-	-	△ 9,933	-	28,732
独立行政法人環境再生保全機構							
(公害健康被害補償予防業務勘定)	45,889	△ 39,817	-	-	39,777	-	45,849
(基金勘定)	14,027	△ 4,626	-	-	4,669	-	14,070
(承継勘定)	10,716	△ 10,145	-	-	11,683	-	12,255
合計	101,544	△ 46,833	-	-	46,196	-	100,907

イ 市場価格のない出資金の純資産額等の明細

(単位：百万円)

出資先	資産(A)	負債(B)	純資産額(C=A-B)	資本金(D)	国からの出資累計額(E)	出資割合(F=E/D) %	純資産額による算出額(G=C×F)	貸借対照表計上額(国有財産台帳価格)	使用財務諸表
○株式会社									
日本環境安全事業株式会社	78,411	139,094	△ 60,683	10,300	10,300	100.00%	△ 60,683	-	法定財務諸表
○独立行政法人									
独立行政法人国立環境研究所	38,766	10,034	28,732	38,666	38,666	100.00%	28,732	28,732	法定財務諸表
独立行政法人環境再生保全機構									
(公害健康被害補償予防業務勘定)	58,877	13,028	45,849	6,071	6,071	100.00%	45,849	45,849	法定財務諸表
(基金勘定)	119,461	105,391	14,070	9,401	9,401	100.00%	14,070	14,070	法定財務諸表
(承継勘定)	66,366	54,111	12,255	571	571	100.00%	12,255	12,255	法定財務諸表
合計	361,885	321,661	40,224	65,010	65,010	-	40,224	100,907	

(単位：百万円)

出資先	資産(A)	負債(B)	純資産額(C=A-B)	資本金(D)	一般会計からの出資累計額(E)	出資割合(F=E/D) %	純資産額による算出額(G=C×F)	貸借対照表計上額(国有財産台帳価格)	使用財務諸表
○株式会社									
日本環境安全事業株式会社	78,411	139,094	△ 60,683	10,300	10,300	100.00%	△ 60,683	-	法定財務諸表
○独立行政法人									
独立行政法人国立環境研究所	38,766	10,034	28,732	38,666	38,666	100.00%	28,732	28,732	法定財務諸表
独立行政法人環境再生保全機構									
(公害健康被害補償予防業務勘定)	58,877	13,028	45,849	6,071	6,071	100.00%	45,849	45,849	法定財務諸表
(基金勘定)	119,461	105,391	14,070	9,401	9,401	100.00%	14,070	14,070	法定財務諸表
(承継勘定)	66,366	54,111	12,255	571	571	100.00%	12,255	12,255	法定財務諸表
合計	361,885	321,661	40,224	65,010	65,010	-	40,224	100,907	

(注) 以下の出資金については、本年度もしくは過年度において強制評価減を実施している。

(単位：百万円)

出資先	国からの出資累計額	貸借対照表計上額	資産評価差額	強制評価減実施累計額	強制評価減実施年度
○株式会社					
日本環境安全事業株式会社	10,300	-	-	10,300	平成17年度及び平成18年度
合計	10,300	-	-	10,300	

(3) 負債項目の明細

① 未払金の明細

(単位：百万円)

内容	相手先	本年度末残高
子ども手当(2、3月未払分)	職員	14
合計		14

② 退職給付引当金の明細

(単位：百万円)

区分	前年度末残高	本年度取崩額	本年度増加額	本年度末残高
退職手当に係る引当金	10,120	270	541	10,391
整理資源に係る引当金	5,051	573	90	4,568
国家公務員災害補償年金に係る引当金	282	22	124	384
合計	15,454	866	756	15,344

2 業務費用計算書の内容に関する明細

(1) 会計別の業務費用の明細

(単位：百万円)

	一般会計	エネルギー対策特別会計	相殺消去	合算合計
人件費	10,554	-	-	10,554
賞与引当金繰入額	695	-	-	695
退職給付引当金繰入額	756	-	-	756
補助金等	661,614	5,553	-	667,167
委託費	11,495	20,447	-	31,942
交付金	9,167	-	-	9,167
分担金	15	29	-	45
拠出金	6,121	300	-	6,421
独立行政法人運営費交付金	15,451	-	-	15,451
エネルギー対策特別会計への繰入	34,100	-	△ 34,100	-
労働保険特別会計への繰入	80	-	-	80
庁費等	30,650	25	-	30,676
その他の経費	1,067	12	-	1,079
減価償却費	5,448	-	-	5,448
貸倒引当金繰入額	4	24	-	28
為替換算差損益	-	△ 3	-	△ 3
資産処分損益	1,039	-	-	1,039
本年度業務費用合計	788,261	26,388	△ 34,100	780,550

## (2) 補助金等の明細

(単位：百万円)

名称	相手先	金額	支出目的
<補助金>			
(項) 地球温暖化対策推進費 (目) 地球温暖化対策推進事業費補助金	民間団体等	97	温室効果ガス排出削減・吸収クレジット創出支援事業に要する経費に対する一部補助
(項) 東日本大震災復旧・復興地球温暖化対策推進費 (目) 地球温暖化対策推進事業費補助金	民間団体等	13	節電・電源セキュリティ向上緊急事業に要する経費に対する一部補助
(項) 東日本大震災復旧・復興地球温暖化対策推進費 (目) 環境対応住宅普及促進対策費補助金	一般社団法人環境パートナーシップ会議	72,300	エコポイントの活用による環境対応住宅の普及事業の基金の造成に要する経費の民間団体等に対する補助
(項) 大気・水・土壌環境等保全費 (目) 土壌汚染対策事業補助金	民間団体等	11	土壌汚染の浄化等の対策を促進するために、事業者が金融機関から対策事業費に係る資金の借入をしたことによる借入利子の一部補助
(項) 東日本大震災復旧・復興大気・水・土壌環境等保全費 (目) 放射線量低減対策特別緊急事業費補助金	地方公共団体	72,602	除染計画策定等に要する経費の地方公共団体に対する補助
(項) 廃棄物・リサイクル対策推進費 (目) 産業廃棄物適正処理推進費補助金	(独) 環境再生保全機構	1,500	PCB廃棄物の排出(保管)事業者の処理費用を助成するために創設する基金に対する補助
(項) 廃棄物・リサイクル対策推進費 (目) 産業廃棄物適正処理推進費補助金	地方公共団体	3,011	生活環境保全上の見地から産業廃棄物の不法投棄者不明等の場合、都道府県が行う支障除去等事業に要する費用に対する補助
(項) 廃棄物・リサイクル対策推進費 (目) 産業廃棄物適正処理推進費補助金	(財) 産業廃棄物処理事業振興財団	170	生活環境保全上の見地から産業廃棄物の不法投棄者不明等の場合、都道府県等が行う原状回復事業に対して支援するための基金の造成に必要な経費に対する補助
(項) 廃棄物・リサイクル対策推進費 (目) 災害等廃棄物処理事業費補助金	地方公共団体	254,911	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第22条の規定により、災害その他の事由により特に必要となった廃棄物の処理を行うために要する費用の一部を補助
(項) 東日本大震災復旧・復興廃棄物・リサイクル対策推進費 (目) 災害等廃棄物処理事業費補助金	地方公共団体	14,605	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第22条の規定により、災害その他の事由により特に必要となった廃棄物の処理を行うために要する費用の一部を補助
(項) 東日本大震災復旧・復興廃棄物・リサイクル対策推進費 (目) 災害等廃棄物処理促進費補助金	地方公共団体	50,886	災害廃棄物処理の促進のための基金の造成に要する経費の地方公共団体に対する補助
(項) 東日本大震災復旧・復興廃棄物・リサイクル対策推進費 (目) 放射性物質汚染廃棄物処理事業費補助金	地方公共団体	94	廃棄物処理施設のモニタリングに要する経費の地方公共団体等への補助
(項) 災害対策総合推進調整費 (目) 災害対策緊急事業費補助金	地方公共団体	2	災害対策の総合推進調整に必要な調査等の実施に要する経費の地方公共団体への補助
(項) 廃棄物処理施設整備費 (目) 廃棄物処理施設費補助	地方公共団体	92	廃棄物循環型社会基盤整備等の事業に要する経費の一部補助
(項) 廃棄物処理施設整備費 (目) 廃棄物処理施設費補助	日本環境安全事業(株)	14,107	廃棄物循環型社会基盤整備等の事業に要する経費の一部補助

(単位：百万円)

名称	相手先	金額	支出目的
(項) 廃棄物処理施設整備費 (目) 廃棄物処理施設費補助	民間団体等	1,020	廃棄物循環型社会基盤整備等の事業に要する経費の一部補助
(項) 廃棄物処理施設整備費 (目) 廃棄物処理施設災害復旧費補助	地方公共団体	1	災害により被害を受けた廃棄物処理施設を原形に復旧する事業並びに応急復旧事業に対する補助
(項) 生物多様性保全等推進費 (目) 環境保全施設整備費補助金	民間団体等	66	自然公園内の条件不利地に位置する山小屋等事業者が、公共の補完的役割を担う環境保全施設等の施設整備事業に要する経費に対する一部補助
(項) 沖縄特別振興対策事業費 (目) 沖縄特別振興対策事業費補助金	地方公共団体	170	沖縄振興策を効果的に展開するために実施する特別振興対策事業に要する経費の一部補助
(項) 沖縄特別振興対策調整費 (目) 沖縄特別振興対策事業費補助金	地方公共団体	167	沖縄振興策を効果的に展開するために実施する特別振興対策の総合調整に対する補助
(項) 環境保健対策推進費 (目) 公害保健福祉事業費補助金	(独) 環境再生保全機構	48	「公害保健福祉事業費納付金に対する公害健康被害の補償等に関する法律」第51条に基づく一部補助
(項) 環境保健対策推進費 (目) 自立支援型公害健康被害予防事業補助金	(独) 環境再生保全機構	200	ぜん息の増悪予防・健康回復を支援するための助成事業に要する経費に対する補助
(項) 環境保健対策推進費 (目) 水俣病総合対策費補助金	地方公共団体	8,748	水俣病総合対策に係る医療事業費等に対する一部補助
(項) 環境保健対策推進費 (目) 水俣病総合対策施設整備費補助金	地方公共団体	90	水俣病発生地域の環境福祉対策を推進するため、胎児性水俣病患者等を支援する事業として支援施設等を整備するために必要な経費に対する補助
(項) 環境保健対策推進費 (目) 水俣病対策地方債償還費補助金	地方公共団体	154	水俣病対策として熊本県が発行した地方債の償還に要する経費の同県に対する一部補助
(項) 環境保健対策推進費 (目) 水俣病患者救済円滑化補助金	地方公共団体	13,194	水俣病患者の救済を円滑に実施するため、財団法人水俣・芦北地域振興財団への熊本県による出資に要する経費の一部補助
(項) 東日本大震災復旧・復興環境・経済・社会の統合的向上費 (目) 地域環境保全対策費補助金	地方公共団体	83,977	地域経済活動の再生を図るため被災地における自立・分散型エネルギーシステム導入のための基金の造成に要する経費の地方公共団体に対する補助
(項) 環境政策基盤整備費 (目) 債権管理回収業務補助金	(独) 環境再生保全機構	3,200	(独) 環境再生保全機構の債権管理回収業務を確実に円滑に実施するために必要な経費の補助
(項) 環境政策基盤整備費 (目) 循環型社会形成推進科学研究費補助金	研究者、法人	52	廃棄物の処理等に関する研究に必要な経費に対する補助
(項) 環境研究総合推進費 (目) 循環型社会形成推進科学研究費補助金	研究者、法人	2,204	廃棄物の処理等に関する研究に必要な経費に対する補助
(項) 独立行政法人国立環境研究所施設整備費 (目) 独立行政法人国立環境研究所施設整備費補助金	(独) 国立環境研究所	76	(独) 国立環境研究所が施行する研究施設等の整備に対する補助
(項) 廃棄物処理施設災害復旧事業費 (目) 廃棄物処理施設災害復旧事業費補助	地方公共団体	4,164	東日本大震災により被害を受けた廃棄物処理施設について、地方公共団体等が施行する災害復旧事業の事業費の一部補助等
(項) エネルギー需給構造高度化対策費 (目) 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金	民間企業等	5,204	エネルギー起源の二酸化炭素の排出を抑制するために実施する事業に必要な経費に対する補助
(項) エネルギー需給構造高度化 (目) 二酸化炭素排出抑制対策利子補給金	民間企業	348	温室効果ガスの排出削減を行う企業への低利融資に対する利子の補給

(単位：百万円)

名称	相手先	金額	支出目的
<交付金>			
(項) 廃棄物処理施設整備費 (目) 循環型社会形成推進交付金	地方公共団体	45,838	廃棄物の3Rを広域的かつ総合的に推進するため、市町村が策定する循環型社会形成推進地域計画に基づいた廃棄物処理施設の整備事業等に対する金額を交付
(項) 東日本大震災復旧・復興廃棄物処理施設整備費 (目) 循環型社会形成推進交付金	地方公共団体	4,283	大震災の教訓を踏まえた国づくりの推進を図るため市町村が施行する廃棄物処理施設の整備事業に対する交付金
(項) 北海道開発事業費 (目) 循環型社会形成推進交付金	地方公共団体	1,617	廃棄物の3Rを広域的かつ総合的に推進するため、市町村が策定する循環型社会形成推進地域計画に基づいた廃棄物処理施設の整備事業等に対する金額を交付
(項) 東日本大震災復旧・復興北海道開発事業費 (目) 循環型社会形成推進交付金	地方公共団体	473	大震災の教訓を踏まえた国づくりの推進を図るため市町村が施行する廃棄物処理施設の整備事業に対する交付金
(項) 離島振興事業費 (目) 循環型社会形成推進交付金	地方公共団体	2,618	廃棄物の3Rを広域的かつ総合的に推進するため、市町村が策定する循環型社会形成推進地域計画に基づいた廃棄物処理施設の整備事業等に対する金額を交付
(項) 沖縄開発事業費 (目) 循環型社会形成推進交付金	地方公共団体	642	廃棄物の3Rを広域的かつ総合的に推進するため、市町村が策定する循環型社会形成推進地域計画に基づいた廃棄物処理施設の整備事業等に対する金額を交付
(項) 地域再生推進費 (目) 地域再生基盤強化交付金	地方公共団体	1,640	地域再生法により、国は認定地方公共団体に対し、予算の範囲内で金額を交付
(項) 生物多様性保全等推進費 (目) 生物多様性保全推進交付金	民間団体等	98	地域における生物多様性の保全再生に資する活動等に対し、必要な経費の一部を交付
(項) 自然公園等事業費 (目) 自然環境整備交付金	地方公共団体	653	国定公園等の施設を整備するために必要な経費を交付
(項) 地域自主戦略推進費 (目) 地域自主戦略交付金	地方公共団体	165	地域の自由裁量により行う基盤整備等に要する経費に充てるための都道府県に対する交付金
(項) 環境保健対策推進費 (目) 公害健康被害給付支給事務費交付金	地方公共団体	1,159	公害健康被害の補償等に関する法律に基づき、地方公共団体に対し、当該都道府県又は当該市が支弁する費用の2分の1に相当する金額を交付
(項) 環境保健対策推進費 (目) 石綿健康被害救済事業交付金	(独) 環境再生保全機構	479	石綿による健康被害の救済に関する法律に基づき、(独) 環境再生保全機構に対し、給付の支給及び事務処理に要する費用に充てるための資金を交付
合計		667,167	

## (3) 委託費等の明細

(単位：百万円)

名称	相手先	金額	支出目的
(項) 地球温暖化対策推進費 (目) 環境保全調査等委託費	民間団体等	287	地球温暖化防止を目的とした調査等の委託
(項) 地球温暖化対策推進費 (目) 認証排出削減量等取得委託費	(独) 新エネルギー・産業技術総合開発機構	689	我が国のエネルギーの利用及び産業活動に対する著しい制約を回避しつつ、京都議定書の約束を履行するため、CDM、JI等の京都メカニズムを活用し、認証された排出削減量等の取得をするための業務を委託
(項) 地球環境保全費 (目) 環境保全調査等委託費	民間団体等	59	オゾン層保護等を目的とした調査等の委託
(項) 地球環境保全費 (目) 政府開発援助環境保全調査等委託費	民間団体	21	アジア地域の途上国のモンリオール議定書遵守のため、途上国の施策実施能力の向上を促す支援の実施等の委託
(項) 大気・水・土壌環境等保全費 (目) 環境保全調査等委託費	(独) 国立環境研究所	20	環境大気に関連する各種汚染物質の判定条件設定に資するための情報の収集・加工・評価等の委託
(項) 大気・水・土壌環境等保全費 (目) 環境保全調査等委託費	民間団体等	206	環境大気に関連する各種汚染物質の判定条件設定に資するための情報の収集・加工・評価等の委託
(項) 大気・水・土壌環境等保全費 (目) 環境保全調査等地方公共団体委託費	地方公共団体	347	国設大気測定網による大気汚染の実態を把握するための試料の収集・分析及び施設運営等を委託
(項) 放射能調査研究費 (目) 放射能測定調査委託費	地方公共団体	6	放射性降下物による環境への影響を把握するためのデータ収集等を委託
(項) 廃棄物・リサイクル対策推進費 (目) 環境保全調査等委託費	民間団体等	135	廃棄物系バイオマスについて、モデル実証・評価を行い、合理的な再生利用手法を提示するための調査等を委託
(項) 廃棄物・リサイクル対策推進費 (目) 環境保全調査等地方公共団体委託費	地方公共団体	30	処分場の浸出水、周辺土壌及び地下水についての各基準の効果を検証するための実態調査を委託
(項) 東日本大震災復旧・復興廃棄物・リサイクル対策推進費 (目) 放射性物質汚染廃棄物処理業務委託費	民間団体等	199	指定廃棄物の処理及び保管の民間団体への委託
(項) 東日本大震災復旧・復興廃棄物・リサイクル対策推進費 (目) 放射性物質汚染廃棄物処理業務地方公共団体委託費	地方公共団体	986	焼却灰等の保管の地方公共団体への委託
(項) 生物多様性保全等推進費 (目) 自然環境保全調査等地方公共団体委託費	地方公共団体	103	国内外での自然共生社会の構築のための地域での自律的な里地里山の保全再生の取組を促進する方策の調査・検討及び海外での自然共生の智慧や伝統等の調査を委託
(項) 生物多様性保全等推進費 (目) 自然環境保全調査等委託費	国立大学法人	34	国内外での自然共生社会の構築のための地域での自律的な里地里山の保全再生の取組を促進する方策の調査・検討及び海外での自然共生の智慧や伝統等の調査を委託
(項) 生物多様性保全等推進費 (目) 自然環境保全調査等委託費	民間団体等	249	国内外での自然共生社会の構築のための地域での自律的な里地里山の保全再生の取組を促進する方策の調査・検討及び海外での自然共生の智慧や伝統等の調査を委託
(項) 生物多様性保全等推進費 (目) 政府開発援助自然環境保全調査等委託費	民間団体等	8	砂漠化対処条約に基づく国際的取組への貢献を果たすため、砂漠化の影響を受ける途上国に対し、技術移転等による支援の実施の委託

(単位：百万円)

名称	相手先	金額	支出目的
(項) 生物多様性保全等推進費 (目) 鳥獣等保護事業委託費	民間団体等	72	希少野生動植物種等指定のための調査等を委託
(項) 生物多様性保全等推進費 (目) 鳥獣等保護事業地方公共団体委託費	地方公共団体	149	絶滅のおそれのある野生動植物の保護対策を確立するための基礎調査及び保護を図るための増殖事業を委託
(項) 化学物質対策推進費 (目) 環境保全調査等委託費	(独)製品評価技術基盤機構	39	化学物質対策を推進するためのPRTR制度運用・データ活用事業等を委託
(項) 化学物質対策推進費 (目) 環境保全調査等地方公共団体委託費	地方公共団体	334	有機ヒ素化合物に係る環境汚染及び健康被害に係る緊急措置事業並びに有機ヒ素化合物の汚染源周辺地域における高濃度対策事業を委託
(項) 環境保健対策推進費 (目) 環境保全調査等委託費	民間団体	86	指定疾病に係わる調査・研究等を行い、今後の医療の適正化を図るための調査研究等を委託
(項) 環境保健対策推進費 (目) 環境保全調査等地方公共団体委託費	地方公共団体	254	環境保健サーベイランスの構築等に関する調査研究及び一般環境経路による石綿曝露の健康リスク評価に関する調査等を委託
(項) 環境・経済・社会の統合的向上費 (目) 環境保全調査等委託費	民間団体等	24	「地球温暖化を防ぐ学校エコ改修事業」モデル校の支援及び「学校エコ改修」の普及等を委託
(項) 環境政策基盤整備費 (目) 環境保全調査等委託費	国立大学法人	145	環境共生型経済社会の将来像を提示し、戦略的環境政策研究の成果を環境政策等へ活用するための研究等を委託
(項) 環境政策基盤整備費 (目) 環境保全調査等委託費	民間団体等	124	環境共生型経済社会の将来像を提示し、戦略的環境政策研究の成果を環境政策等へ活用するための研究等を委託
(項) 環境政策基盤整備費 (目) 公害調査等委託費	民間団体等	229	重金属等の影響による健康被害に関する調査研究等を委託
(項) 環境政策基盤整備費 (目) 公害調査等委託費	(独)国立環境研究所	63	地球温暖化の影響の監視、評価、情報提供を行うシステムを国内で構築するための調査研究を委託
(項) 沖縄振興総合調査費 (目) 沖縄振興総合調査委託費	民間団体等	2	沖縄県における亜熱帯照葉樹林の地域振興に資する保全と利用のあり方の検討調査を委託
(項) 環境政策基盤整備費 (目) 公害調査等地方公共団体委託費	地方公共団体	122	カドミウム及び砒素の汚染地域における健康影響の実態調査並びに蓄積性有害重金属の汚染による慢性健康影響の追跡調査等を委託
(項) 環境研究総合推進費 (目) 試験研究調査委託費	(独)国立環境研究所	1,232	関係行政機関の試験研究機関等が行う環境研究のための試験研究を委託
(項) 環境研究総合推進費 (目) 試験研究調査委託費	独立行政法人	367	関係行政機関の試験研究機関等が行う環境研究のための試験研究を委託
(項) 環境研究総合推進費 (目) 試験研究調査委託費	国立大学法人	3,483	関係行政機関の試験研究機関等が行う環境研究のための試験研究を委託
(項) 環境研究総合推進費 (目) 試験研究調査委託費	民間団体等	925	関係行政機関の試験研究機関等が行う環境研究のための試験研究を委託
(項) 環境研究総合推進費 (目) 試験研究調査地方公共団体委託費	地方公共団体	59	関係行政機関の試験研究機関等が行う環境研究のための試験研究を委託
(項) 地球環境保全等試験研究費 (目) 試験研究調査委託費	(独)国立環境研究所	362	関係行政機関の試験研究機関等が行う地球環境保全のための試験研究を委託
(項) 地方環境対策費 (目) 国立公園等調査管理委託費	民間団体	26	国立公園の保護管理を図るための検討調査並びに国立公園利用適正化システムの構築を図るための調査等を委託
(項) エネルギー需給構造高度化対策費 (目) 二酸化炭素排出抑制対策事業等委託費	民間企業等	15,678	地球温暖化防止を目的とした調査及び温暖化防止活動支援事業等
(項) エネルギー需給構造高度化対策費 (目) 認証排出削減量等取得委託費	独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構	4,768	京都メカニズムクレジット取得事業
合計		31,942	

## (4) 交付金の明細

(単位：百万円)

名称	相手先	金額	支出目的
(項) 自動車重量税財源公害健康被害補償費 (目) 公害健康被害補償納付金交付金	(独) 環境再生保全機構	9,167	「公害健康被害の補償等に関する法律」に基づき、(独)環境再生保全機構に対し、当該年度の自動車重量税の収入見込額の一部に相当する額を交付
合計		9,167	

## (5) 分担金の明細

(単位：百万円)

名称	相手先	金額	支出目的
(項) 生物多様性保全等推進費 (目) 政府開発援助国際自然保護連合等分担金	国際湿地保全連合等	2	国際湿地保全連合規約等に基づく分担金
(項) 生物多様性保全等推進費 (目) 経済協力開発機構等分担金	国際湿地保全連合	4	国際湿地保全連合規約に基づく分担金
(項) 化学物質対策推進費 (目) 経済協力開発機構等分担金	経済協力開発機構	7	経済協力開発機構が化学品プロジェクト実施のために必要な経費等の分担金
(項) エネルギー需給構造高度化対策費 (目) 国際再生可能エネルギー機関分担金	国際再生可能エネルギー機関	29	世界的な再生可能エネルギー普及を推進する国際再生可能エネルギー機関に対する分担金
合計		45	



## (6) 拠出金の明細

(単位：百万円)

名称	相手先	金額	支出目的
(項) 地球温暖化対策推進費 (目) 経済協力開発機構等拠出金	気候変動枠組条約事務局	101	国際排出量取引が正常に実施されているかどうかをチェックする取引ログ等、国際データ管理システムの構築に必要な経費等の拠出
(項) 地球環境保全費 (目) 経済協力開発機構等拠出金	経済協力開発機構等	918	経済協力開発機構が行う気候変動関連プログラム、環境保全成果レビュープログラム及び化学品プログラム等実施のために必要な経費等の拠出
(項) 地球環境保全費 (目) 政府開発援助国際自然保護連合等拠出金	国連環境計画	261	国際連合環境計画本部及び国際環境技術センターの運営経費並びにアジア太平洋地域事務所が行う持続可能な開発に関する革新的取組ショーケースプロジェクト促進事業実施のために必要な経費等の拠出
(項) 大気・水・土壌環境等保全費 (目) 経済協力開発機構拠出金	国際連合地域開発センター等	318	UNCRDが行うアジア地域におけるESTの実現、交通環境問題の解決に貢献するために必要な経費等の拠出
(項) 廃棄物・リサイクル対策推進費 (目) 経済協力開発機構等拠出金	バーゼル条約事務局等	47	バーゼル条約事務局が行うコンピュータ機器廃棄物適正管理事業等に対する拠出
(項) 廃棄物・リサイクル対策推進費 (目) 政府開発援助国際連合地域開発センター拠出金	国際連合地域開発センター	24	「アジア3R推進フォーラム」の開催及び3R国家戦略に基づく取組を促進するためモデル的事業計画の策定等に対する拠出
(項) 生物多様性保全等推進費 (目) 政府開発援助国際自然保護連合等拠出金	生物多様性条約事務局等	4,006	生物多様性保全の取組や持続可能な遺伝資源利用の事例収集等を支援するための経費等の拠出
(項) 生物多様性保全等推進費 (目) 経済協力開発機構等拠出金	カルタヘナ議定書事務局等	223	地球環境保全に関する積極的な国際的貢献と連携の確保に資するために必要な経費等の拠出
(項) 化学物質対策推進費 (目) 経済協力開発機構等拠出金	残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約事務局等	15	残留性有機汚染物質による汚染を防止するために設置された事務局の運営に必要な経費等の拠出
(項) 環境・経済・社会の統合的向上費 (目) 経済協力開発機構等拠出金	国連大学	160	国連大学が行う持続可能な開発のための教育10年構想事業に対する拠出
(項) 環境政策基盤整備費 (目) 経済協力開発機構等拠出金	国連環境計画事務局	44	水銀によるリスクの削減に係る条約の制定を推進するための国連環境計画への拠出金
(項) エネルギー需給構造高度化対策費 (目) 国際エネルギー機関等拠出金	国際復興開発銀行	300	途上国における排出削減プロジェクトの実施等に要する経費の拠出金
合計		6,421	

## (7) 独立行政法人運営費交付金の明細

(単位：百万円)

相手先	金額	支出目的
(独) 国立環境研究所	13,522	「独立行政法人通則法」に基づき、予算の範囲内において、独立行政法人国立環境研究所に対し、その業務の財源に充てるために必要な金額の全部又は一部に相当する金額を交付
(独) 環境再生保全機構	1,928	「独立行政法人通則法」に基づき、予算の範囲内において、独立行政法人環境再生保全機構に対し、その業務の財源に充てるために必要な金額の全部又は一部に相当する金額を交付
合計	15,451	

### 3 資産・負債差額増減計算書の内容に関する明細

#### (1) 会計別の資産・負債差額の増減の明細

(単位：百万円)

	一般会計	エネルギー対策 特別会計	相殺消去	合算合計
I 前年度末資産・負債差額	396,498	10,704	-	407,203
II 本年度業務費用合計	△ 788,261	△ 26,388	34,100	△ 780,550
III 財源	785,556	34,357	△ 34,100	785,813
主管の財源	3,901	-	-	3,901
配賦財源	781,654	-	-	781,654
自己収入	-	257	-	257
他会計からの受入	-	34,100	△ 34,100	-
IV 無償所管換等	967	-	-	967
V 資産評価差額	△ 3,534	-	-	△ 3,534
VI 本年度末資産・負債差額	391,226	18,674	-	409,900

#### (2) 財源の明細

##### ① 主管の財源の明細

(単位：百万円)

款	項	相手先	金額
国有財産利用収入	国有財産貸付収入	土地等使用許可者等	498
	国有財産使用収入	個人等	169
納付金	雑納付金	独立行政法人	1,174
諸収入	許可及び手数料	民間団体等	3
	弁償及び返納金	地方公共団体等	2,032
	物品売払収入	民間団体等	0
	雑入	民間団体等	23
合計			3,901

##### ② 特別会計の財源の明細

(単位：百万円)

特別会計	区分	財源の内容	金額
エネルギー対策特別会計	自己収入	雑収入	257
合計			257

## (3) 無償所管換等の明細

(単位：百万円)

区分	相手先	金額	資産等の内容	所管換等の理由	備考
財産の無償所管換等 (受)	国土交通省	0	建物	地盤沈下・地下水位観測用のため	
		0	工作物		
	小計	0			
国有財産台帳価格の誤謬訂正等により生じた増減		38	土地	国有財産台帳の誤謬訂正	
		0	立木竹		
		507	建物		
		462	工作物		
小計	1,008				
その他		0	工作物	種別換	
		△ 0	その他	管理換	
		△ 42	建設仮勘定	資産の除却を行ったため	
	小計	△ 41			
合計		967			

## (4) 資産評価差額の明細

(単位：百万円)

区分	評価差額の戻入	本年度発生額	本年度増減額	評価差額の発生原因
有形固定資産				
国有財産（公共用財産除く）	-	△ 2,898	△ 2,898	
行政財産	-	△ 2,898	△ 2,898	
土地	-	△ 2,745	△ 2,745	国有財産台帳の価格改定に伴う評価差額
立木竹	-	△ 152	△ 152	国有財産台帳の価格改定に伴う評価差額
無形固定資産				
国有財産	-	0	0	
行政財産	-	0	0	
特許権	-	0	0	国有財産台帳の価格改定に伴う評価差額
出資金	△ 46,833	46,196	△ 636	
(市場価格のないもの)	△ 46,833	46,196	△ 636	国有財産台帳の価格改定に伴う評価差額
合計	△ 46,833	43,298	△ 3,534	

4 区分別収支計算書の内容に関する明細

(1) 会計別の区分別収支の明細

(単位：百万円)

	一般会計	エネルギー対策特別会計	相殺消去	合算合計
I 業務収支				
1 財源				
主管の収納済歳入額	3,892	-	-	3,892
配賦財源	781,654	-	-	781,654
自己収入	-	237	-	237
一般会計からの受入	-	34,100	△ 34,100	-
前年度余剰金受入	-	10,711	-	10,711
財源合計	785,546	45,048	△ 34,100	796,495
2 業務支出				
(1) 業務支出 (施設整備支出を除く)				
人件費	△ 12,099	-	-	△ 12,099
補助金等	△ 661,614	△ 5,553	-	△ 667,167
委託費	△ 11,185	△ 20,447	-	△ 31,632
交付金	△ 9,167	-	-	△ 9,167
分担金	△ 15	△ 36	-	△ 51
拠出金	△ 6,121	△ 300	-	△ 6,421
独立行政法人運営費交付金	△ 15,451	-	-	△ 15,451
庁費等の支出	△ 31,414	△ 25	-	△ 31,440
エネルギー対策特別会計への繰入	△ 34,100	-	34,100	-
労働保険特別会計への繰入	△ 81	-	-	△ 81
その他の支出	△ 1,005	△ 12	-	△ 1,017
業務支出 (施設整備支出を除く) 合計	△ 782,257	△ 26,374	34,100	△ 774,531
(2) 施設整備支出				
土地に係る支出	△ 72	-	-	△ 72
立木竹に係る支出	△ 60	-	-	△ 60
建物に係る支出	△ 714	-	-	△ 714
工作物に係る支出	△ 2,208	-	-	△ 2,208
建設仮勘定に係る支出	△ 233	-	-	△ 233
施設整備支出合計	△ 3,289	-	-	△ 3,289
業務支出合計	△ 785,546	△ 26,374	34,100	△ 777,820
業務収支	-	18,674	-	18,674
II 財務収支	-	-	-	-
本年度収支	-	18,674	-	18,674
翌年度歳入繰入	-	18,674	-	18,674
本年度末現金・預金残高	-	18,674	-	18,674

(2) 財源の明細

① 主管の収納済歳入額の明細

(単位：百万円)

款	項	相手先	金額
国有財産利用収入	国有財産貸付収入	土地等使用許可者等	479
	国有財産使用収入	個人等	169
	小計		649
納付金	雑納付金	独立行政法人	1,174
諸収入	許可及び手数料	民間団体等	3
	弁償及び返納金	地方公共団体等	2,042
	物品売払収入	民間団体	0
	雑入	民間団体等	23
	小計		2,069
合計			3,892

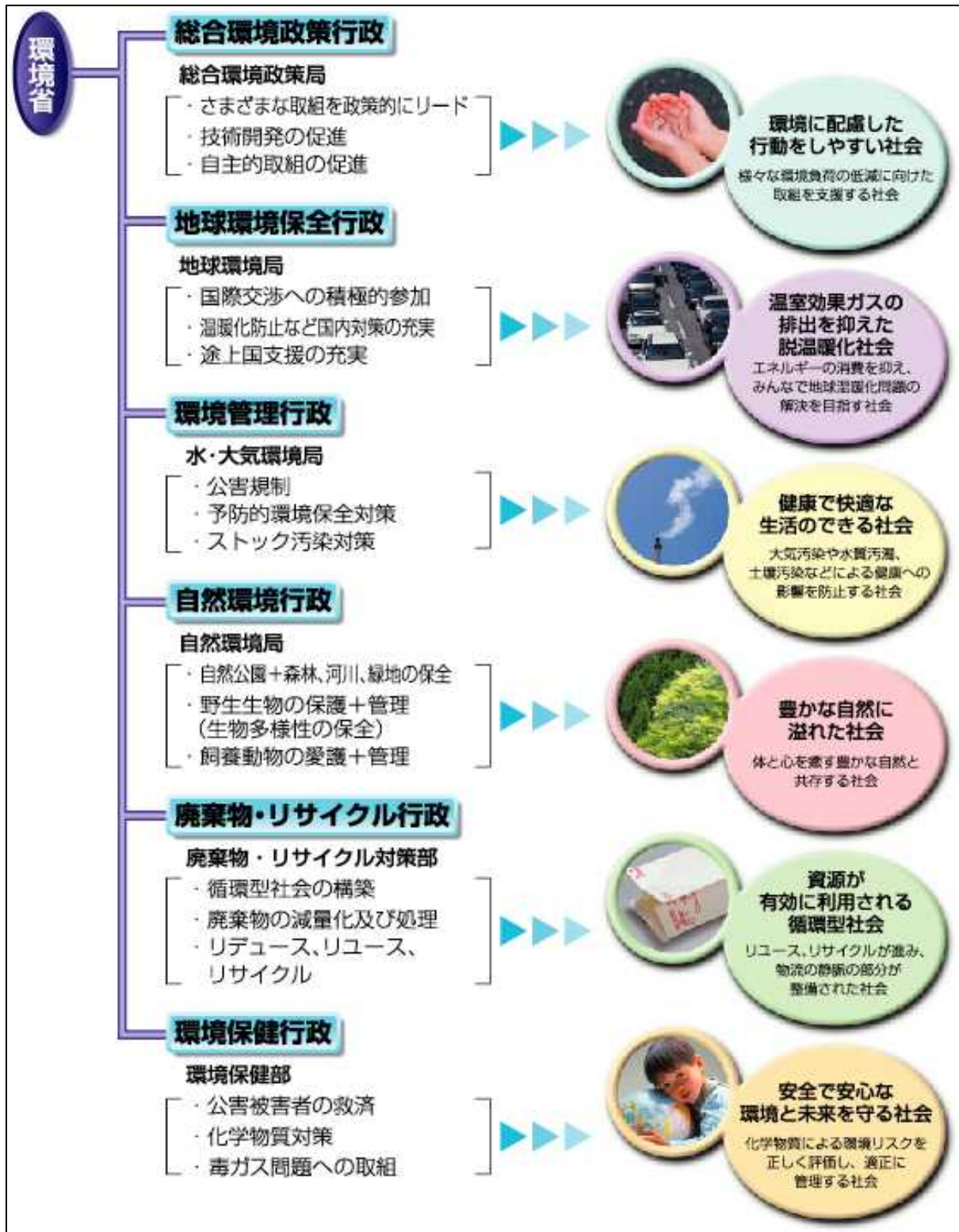
② 特別会計の財源の明細

(単位：百万円)

特別会計	区分	財源の内容	金額
エネルギー対策特別会計	自己収入	雑収入	237
合計			237

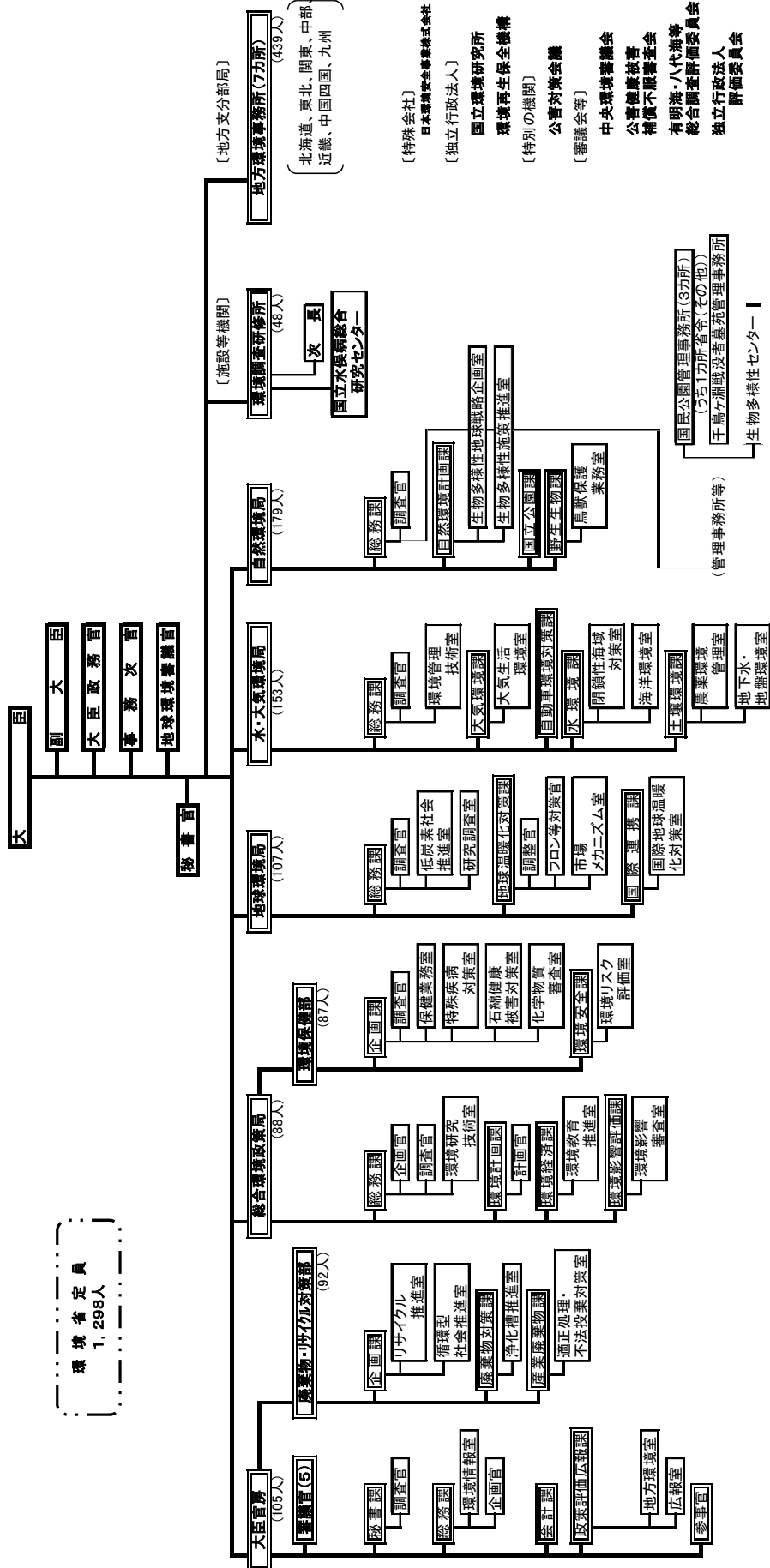
1 環境省の所掌する業務の概要

環境省は、地球環境保全、公害の防止、自然環境の保護及び整備その他の環境の保全（良好な環境の創出を含む。）を図ることを任務とする。



2 環境省の組織及び定員

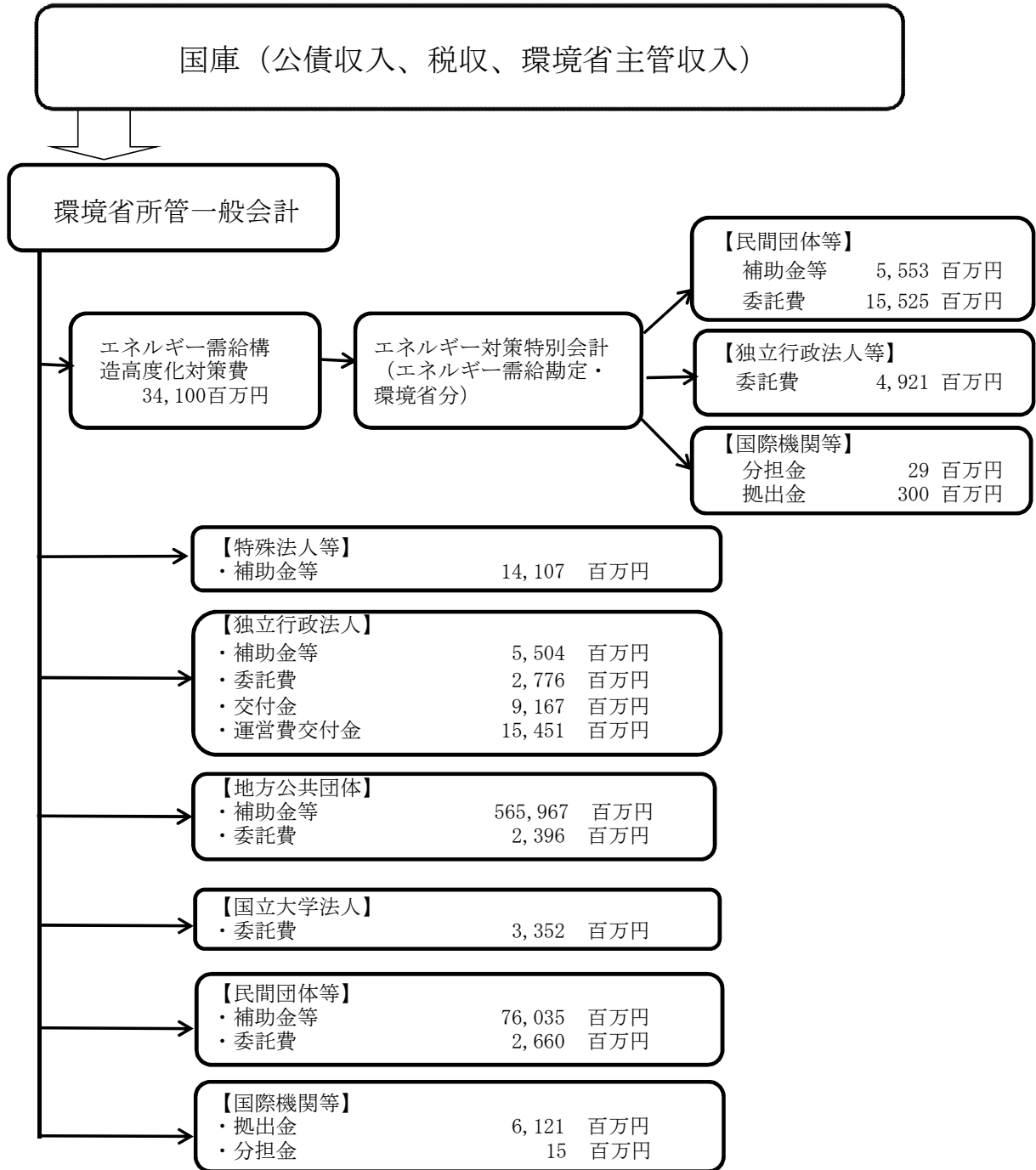
環境省機構図 (平成23年度末)



### 3 環境省における会計・独立行政法人等との間の財政資金の流れ

#### 他会計・特殊法人等との間の財政資金の流れ

環境省は、地球環境保全、公害の防止、自然環境の保護及び整備その他の環境の保全を図ることを任務とし、環境省所管一般会計を通じて、総合的・一体的に施策を推進している。





#### 4 平成23年度歳入歳出決算の概要

##### <一般会計>

###### (歳入)

歳入予算の実行状況は、当初予算額2,491百万円に対し、平成23年度の収納済歳入額は3,892百万円である。収納済歳入額の主なものは、国有財産利用収入として国立公園集团施設地区内の当省所管の国有地を宿泊施設等に使用許可したことによる使用料並びに国民公園新宿御苑の入場料収入である。また、諸収入として、補助金、交付金の精算確定による超過交付分の返納並びに関係等の給与一部返納金による収入があった。

###### (歳出)

歳出予算の執行状況は、当初予算額200,926百万円に対し、予算補正追加額1,199,052百万円、予算補正修正減少額3,024百万円、内閣府等からの予算移替増加額8,697百万円、厚生労働省等への予算移替減少額632百万円、前年度繰越額16,742百万円、予備費使用額10,545百万円で、歳出予算現額は1,432,306百万円である。

この歳出予算現額に対する平成23年度の支出済歳出額は785,546百万円となっており、(項)東日本大震災復旧・復興廃棄物・リサイクル対策推進費、(項)東日本大震災復旧・復興大気・水・土壌環境等保全費等の翌年度繰越額が607,023百万円で、不用額は39,736百万円である。

平成23年度における一般会計の決算の計数を表示すると、次のとおりである。

(1) 歳入		(単位：百万円、単位未満切り捨て)	
区 分 (部・款)		収納済歳入額	
16 環境省主管合計		3,892	
雑収入		3,892	
国有財産利用収入		649	
納付金		1,174	
諸収入		2,069	

(2) 歳出		(単位：百万円、単位未満切り捨て)	
区 分 (組織・項)		支出済歳出額	翌年度繰越額
16 環境省所管合計		785,546	607,023
(組織) 環境本省		780,231	606,978
001 環境本省共通費		11,301	571
002 地球温暖化対策推進費		2,276	300
027 東日本大震災復旧・復興地域温暖化対策推進費		72,313	1,709
003 石油石炭税財源エネルギー需給構造高度化対策費エネルギー対策特別会計へ繰入		34,100	-
004 地球環境保全費		1,825	-
005 大気・水・土壌環境等保全費		5,657	-
028 東日本大震災復旧・復興大気・水・土壌環境等保全費		74,271	125,808
697 放射能調査研究費		651	-
006 廃棄物・リサイクル対策推進費		261,934	78,893
029 東日本大震災復旧・復興廃棄物・リサイクル対策推進費		66,929	362,328
828 東日本大震災復旧・復興推進費		-	131
007 廃棄物処理施設整備費		61,117	12,789
030 東日本大震災復旧・復興廃棄物処理施設整備費		4,283	8,277
040 東日本大震災復旧・復興放射性物質除去土壌等管理費		494	504
745 北海道開発事業費		1,617	4
771 東日本大震災復旧・復興北海道開発事業費		473	-
739 離島振興事業費		2,618	18
645 沖縄開発事業費		642	563
613 地域再生推進費		1,640	0
008 生物多様性保全等推進費		7,699	854
034 生物多様性保全等推進費		63	-
009 環境保全施設整備費		354	31
809 地域自主戦略推進費		165	11
822 東日本大震災復旧・復興推進調整費		-	12
633 沖縄特別振興対策事業費		170	-
661 沖縄振興総合調査費		2	-
010 自然公園等事業費		9,331	3,990
035 東日本大震災復旧・復興自然公園等事業費		83	512
618 災害対策総合推進調査費		27	-
629 沖縄特別振興対策調整費		167	-
011 化学物質対策推進費		1,918	1,654

(単位：百万円、単位未満切り捨て)

区 分 (組織・項)	支出済歳出額	翌年度繰越額
012 環境保健対策推進費	24,656	-
036 東日本大震災復旧・復興環境保健対策推進費	9	-
013 自動車重量税財源公害健康被害補償費	9,167	-
014 環境・経済・社会の統合的向上費	887	-
037 東日本大震災復旧・復興環境・経済・社会	83,979	-
015 環境政策基盤整備費	7,550	1,596
038 東日本大震災復旧・復興環境政策基盤整備	-	308
016 環境調査研修所	1,255	-
017 環境調査研修所施設費	36	35
018 独立行政法人環境再生保全機構運営費	1,928	-
019 独立行政法人国立環境研究所運営費	13,522	-
020 独立行政法人国立環境研究所施設整備費	76	260
039 東日本大震災復旧・復興独立行政法人国立環	-	298
022 環境研究総合推進費	7,970	-
021 地球環境保全等試験研究費	362	-
023 石綿健康被害救済事務費労働保険特別会計 へ繰入	81	-
025 廃棄物処理施設整備事業調査諸費	4	-
024 自然公園等事業工事諸費	437	1
026 廃棄物処理施設災害復旧事業費 (組織) 地方環境事務所	4,164	5,507
	5,314	45
031 地方環境事務所共通費	3,675	-
032 地方環境事務所施設費	58	45
033 地方環境対策費	1,581	-
698 放射能調査研究費	0	-

## &lt;エネルギー対策特別会計(エネルギー需給勘定)&gt;

平成23年度におけるエネルギー対策特別会計(エネルギー需給勘定)の決算の計数を表示すると、次のとおりである。

## (1) 歳入

(単位：百万円、単位未満切り捨て)

区 分 (款)	収納済歳入額
歳入合計	45,048
他会計より受入	34,100
雑収入	237
前年度剰余金受入	10,711

## (2) 歳出

(単位：百万円、単位未満切り捨て)

区 分 (項)	支出済歳出額	翌年度繰越額
歳出合計	26,374	4,589
02 エネルギー需給構造高度化対策費	26,336	4,589
06 事務取扱費	37	-

## 5 公債関連情報

一般会計の公債の発行・管理は財務省の所掌する業務であるため、公債及び利払費等については財務省に計上されている。しかし、各省庁の業務実施の財源の一部は公債で調達されていることから、各省庁の負担と考えられる公債関連の計数を複数の仮定計算に基づき算定し、公債関連情報として開示している。仮定計算に基づく数字であるため、各省庁の省庁別財務書類に負債計上するものではない。

① 財務省において計上されている会計年度末の公債残高、当該年度に発行した公債額（借換債を除く）及び当該年度の利払費は以下のとおりである。

・会計年度末の公債残高	<u>6,374,795 億円</u>
・当該年度に発行した公債額	<u>427,979 億円</u>
・当該年度の利払費	<u>74,422 億円</u>

② 財務省において計上されている①の計数を各省庁の公債発行対象経費及び歳出決算額を基礎として各省庁に配分を行った場合、当省に配分される額は以下のとおりである。

・会計年度末の公債残高のうち当省配分額	<u>63,794 億円</u>
・当該年度に発行した公債額のうち当省配分額	<u>9,635 億円</u>
・当該年度の利払費のうち当省配分額	<u>710 億円</u>



平成 23 年度

環境省 省庁別連結財務書類



## 連 結 貸 借 対 照 表

(単位：百万円)

	前会計年度	本会計年度		前会計年度	本会計年度
	(平成23年 3月31日)	(平成24年 3月31日)		(平成23年 3月31日)	(平成24年 3月31日)
<資産の部>			<負債の部>		
現金・預金	134,184	146,450	未払金	12,264	15,373
売掛金	77,412	67,490	未払費用	361	467
有価証券	119,512	137,577	保管金等	56,800	64,989
たな卸資産	2,431	2,604	前受金	3,330	3,862
未収金	2,598	2,806	賞与引当金	1,095	1,093
未収収益	370	297	環境再生保全機構債 券	24,997	24,998
前払金	316	359	P C B基金預り金	20,436	20,438
前払費用	437	1,028	借入金	165,688	142,692
貸付金	9,351	6,634	退職給付引当金	19,732	19,636
破産更生債権等	3,805	3,749	その他の債務等	33,886	6,563
その他の債権等	20	8			
貸倒引当金	△ 16,825	△ 14,025			
有形固定資産	403,815	415,616			
国有財産等(公共 用財産を除く)	375,582	370,323			
土地	288,273	285,638			
立木竹	1,907	1,812			
建物	45,924	44,987			
工作物	31,386	29,406			
船舶	2	1			
建設仮勘定	8,088	8,476			
物品等	28,232	45,292			
無形固定資産	980	1,054			
その他の投資等	495	507			
資 産 合 計	738,908	772,160	負 債 合 計	338,592	300,115
			<資産・負債差額の部>		
			資産・負債差額	400,315	472,044
			負債及び資産・ 負債差額合計	738,908	772,160

## 連結業務費用計算書

(単位：百万円)

	前会計年度 (自 平成22年 4月 1日) (至 平成23年 3月31日)	本会計年度 (自 平成23年 4月 1日) (至 平成24年 3月31日)
人件費	16,957	16,873
賞与引当金繰入額	792	811
退職給付引当金繰入額	1,048	997
売上原価	45,924	44,514
補助金等	239,708	647,593
委託費	47,995	35,753
交付金	11,169	11,170
分担金	22	45
拠出金	4,027	6,421
労働保険特別会計への繰入	89	80
庁費等	27,699	30,676
その他の経費	50,858	49,798
減価償却費	5,021	16,896
貸倒引当金繰入額	142	28
支払利息	2,634	2,013
為替換算差損益	-	△ 3
資産処分損益	204	1,083
本年度業務費用合計	454,297	864,755



## 連結資産・負債差額増減計算書

(単位：百万円)

	前会計年度 (自 平成22年 4月 1日) (至 平成23年 3月31日)	本会計年度 (自 平成23年 4月 1日) (至 平成24年 3月31日)
I 前年度末資産・負債差額	409,557	400,315
II 本年度業務費用合計	△ 454,297	△ 864,755
III 財源	471,442	915,369
主管の財源	6,257	3,901
配賦財源	361,522	781,654
自己収入	253	257
独立行政法人等収入	103,408	129,555
IV 無償所管換等	4,644	967
V 資産評価差額	8,548	△ 2,897
VI その他資産・負債差額の増減	△ 39,579	23,045
VII 本年度末資産・負債差額	400,315	472,044

## 連結区分別収支計算書

(単位：百万円)

	前会計年度 (自 平成22年 4月 1日) (至 平成23年 3月31日)	本会計年度 (自 平成23年 4月 1日) (至 平成24年 3月31日)
I 業務収支		
1 財源		
主管の収納済歳入額	6,275	3,892
配賦財源	361,522	781,654
自己収入	119	237
独立行政法人等収入	108,576	108,997
貸付金の回収による収入	3,614	2,733
有価証券売却等収入	10,050	64,390
その他の投資による収入	1,033	7
前年度剰余金等受入	139,053	134,184
財源合計	630,246	1,096,098
2 業務支出		
(1)業務支出（施設整備支出を除く）		
人件費	△ 18,845	△ 18,879
売上原価	△ 22,135	△ 23,590
補助金等	△ 239,704	△ 647,589
委託費	△ 44,068	△ 29,956
交付金	△ 11,462	△ 10,697
分担金	△ 16	△ 51
拋出金	△ 4,027	△ 6,421
労働保険特別会計への繰入	△ 83	△ 81
庁費等の支出	△ 28,031	△ 31,440
有価証券の取得による支出	△ 36,399	△ 82,355
その他の支出	△ 58,252	△ 70,091
業務支出（施設整備支出を除く）合計	△ 463,028	△ 921,154
(2)施設整備支出		
土地に係る支出	△ 201	△ 72
立木竹に係る支出	△ 56	△ 60
建物に係る支出	△ 922	△ 714
工作物に係る支出	△ 3,843	△ 2,208
建設仮勘定に係る支出	△ 512	△ 233
独立行政法人等における固定資産取得支出	△ 7,299	△ 4,658
施設整備支出合計	△ 12,836	△ 7,948
業務支出合計	△ 475,864	△ 929,103
業務収支	154,381	166,995

II 財務収支		
借入による収入	28,000	16,200
借入金の返済による支出	△ 50,206	△ 39,196
債券の発行による収入	5,000	5,000
リース債務の返済による支出	△ 504	△ 675
利息の支払額	△ 2,553	△ 1,901
民間出えん金等による収入	81	42
その他の財務収支	△ 14	△ 14
財務収支	△ 20,196	△ 20,544
本年度収支	134,184	146,450
翌年度歳入繰入等	134,184	146,450
本年度末現金・預金残高	134,184	146,450

## 注 記

### 1 連結を行った独立行政法人等の名称及び出資割合等

独立行政法人等の名称	出資額 (百万円)	出資割合	子会社数
(独立行政法人)			
国立環境研究所	38,666	100.0%	-
環境再生保全機構	16,044	100.0%	-
(特殊会社)			
日本環境安全事業株式会社	10,300	100.0%	-

(注1) 名称、出資額、出資割合及び子会社数は平成24年3月31日時点によっている。

### 2 出納整理期間における現金の受払いの修正

国の会計においては出納整理期間が設けられており、出納整理期間中の現金の受払等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としているが、連結対象法人では出納整理期間が設けられていない。このため、連結に際しては、国の会計年度に合わせて、連結対象法人においても、本会計年度末に国の会計との出納整理期間中の受払等は終了したものとして修正を行っている。

### 3 連結対象法人特有の会計処理の修正の内容

連結対象法人においては、企業会計原則に対して必要な修正をした上で、それぞれの特性を反映した財務諸表を作成している。省庁別連結財務書類の作成に際して、国の会計と連結対象法人との会計処理の統一は行っていないが、以下に記載した連結対象法人の特有の会計処理については、修正を行っている。

#### (1) 運営費交付金、補助金等

連結対象法人において負債計上されている運営費交付金債務、預り施設費、預り補助金等、預り寄附金、資産見返運営費交付金、資産見返補助金等及び資産見返寄附金は、財源等へ振替えている。

#### (2) 法令に基づく引当金等

法令に基づく引当金等で、負債性が認められないものについては、取崩している。

#### (3) 退職給付引当金及び賞与引当金

独立行政法人会計基準等に基づき引当外とされている退職給付引当金及び賞与引当金については、所要額を計上している。

#### (4) 損益外減価償却累計額等

独立行政法人会計基準等に基づき資本剰余金の減少として計上されている当年度の損益外減価償却累計額等は、業務費用へ振替えている。

### 4 省庁別財務書類と連結対象法人の会計処理の重要な相違

#### (1) 有形固定資産の減価償却方法

国においては、国有財産について定率法、物品については定額法を採用しているが、連結対象法人は定額法を採用している。ただし、日本環境安全事業株式会社の機械及び装置については、定率法を採用している。

#### (2) 消費税等

国の会計及び(独)国立環境研究所においては税込処理によっているが、(独)環境再生保全機構及び日本環境安全事業株式会社においては税抜処理によっている。

### 5 重要な会計方針の変更

#### (1) 固定資産の評価基準の改訂

本会計年度より、国有財産（公共財産を除く）及び物品について、残存価額まで到達したものにかかる翌会計年度から備忘価格 1 円までの 5 年間均等償却額を連結業務費用計算書上の減価償却費として処理している。この変更は、国有財産台帳の価格改定に関する評価要領が改定（平成 22 年 5 月 31 日財理第 1874 号）されたこと等による。

なお、この変更により、本会計年度の連結貸借対照表において、国有財産（公共用財産を除く）が 1,151 百万円、物品が 104 百万円減少し、本会計年度の業務費用計算書において、減価償却費が 1,256 百万円増加している。

## 6 重要な後発事象

### (1) 各省庁の組織・機構の大幅な変更

- ① 平成 24 年 9 月、環境省の外局として原子力規制委員会が設置された。
- ② 一般会計に所属する権利義務の一部については、「特別会計に関する法律の一部を改正する法律」（平成 24 年法律第 15 号）の規定に基づき、翌年度以降、東日本大震災復興特別会計に帰属することとされている。

## 7 追加情報

### (1) 表示科目の内容（連結対象法人を中心に説明）

#### ① 連結貸借対照表

##### ア 資産の部

- ・「現金・預金」には、特別会計における日本銀行預金の他、連結対象法人が市中銀行に預け入れている預金及び財政融資資金預託金を計上している。
- ・「売掛金」には、（独）環境再生保全機構が行っていた建設譲渡事業における割賦譲渡元金等を計上している。
- ・「有価証券」には、国債、地方債、社債、外債、政府関係機関債等を計上している。
- ・「たな卸資産」には、主に日本環境安全事業株式会社が行う PCB 廃棄物処理事業における貯蔵品等を計上している。
- ・「未収金」には、国の国有財産貸付に係る債権、弁償及び返納金に係る債権、連結対象法人における未収消費税等の他、連結対象法人の通常の業務活動において発生した未収入金を計上している。
- ・「未収収益」には、預金、貸付金、有価証券に係る未収利息等を計上している。
- ・「前払金」には、国の繰越した国立公園等整備事業の設計業務で前金払いを行った額及び日本環境安全事業（株）の仮払消費税等を計上している。
- ・「前払費用」には、当期末において、未だ役務の提供がなされていない保険料、賃借料等の既支払額を計上している。
- ・「貸付金」には、（独）環境再生保全機構における産業廃棄物処理業者等への貸付金を計上している。
- ・「破産更生債権等」には、売掛金、貸付金及び未収金のうち、経営破綻又は実質に経営破綻に陥っている債務者に対する債権を計上している。
- ・「その他の債権等」には、独立の科目で表示しているもの以外の債権等を計上している。
- ・「貸倒引当金」には、未収金等についての回収不能見込額を計上している。
- ・「国有財産等（公共用財産を除く）」には、国有財産及び連結対象法人の有形固定資産のうち、公共用財産及び物品等以外を、建設仮勘定を除き、国有財産台帳価格等を用いて計上している。
- ・「土地」には、一般会計が保有する新宿御苑等の国民公園及び千鳥ヶ淵戦没者墓苑、国立公園内の環境省所管地等の他、連結対象法人が保有する研究所、事務所敷地等を計上している。
- ・「立木竹」には、一般会計が保有する国民公園内のサクラ、クロマツ、ユリの木、クスノキ等を計上している。
- ・「建物」には、一般会計が保有する国立公園内の博物展示施設（ビジターセンター）、公衆トイレ

及び地方出先機関の事務所建物等の他、連結対象法人が保有する研究所、事務所の建屋等を計上している。

- ・「工作物」には、一般会計が保有する国立公園内の歩道（木道）、野営場、休憩舎及び標識等の他、連結対象法人が保有する構築物、建物附属設備を計上している。
- ・「船舶」には、一般会計が保有する皇居外苑管理事務所のボート等を計上している。
- ・「建設仮勘定」には、一般会計における国立公園等の園地、野営場等の整備及び長距離自然歩道の整備工事、日本環境安全事業株式会社における PCB 廃棄物処理施設工事等、工事代金の既支払額等を計上している。
- ・「物品等」には、一般会計が保有する官用車、パソコン等の事務用機器等の他、連結対象法人が所有する機械装置、車両運搬具、工具器具備品等を計上している。
- ・「無形固定資産」には、電話加入権、ソフトウェア及び特許権等を計上している。
- ・「その他の投資等」には、連結対象法人における敷金・保証金等を計上している。

#### イ 負債の部

- ・「未払金」には、設備未払金等、通常の業務活動において発生した未払額等を計上している。
- ・「未払費用」には、借入金等に係る未払利息等を計上している。
- ・「保管金等」には、主に（独）環境再生保全機構における預り維持管理積立金（管理型最終処分場の長期にわたる維持管理の適正を確保するため、最終処分場の管理者に対して埋立終了後に必要となる維持管理費用をあらかじめ積み立てることを義務づけたもの）を計上している。
- ・「前受金」には、主に日本環境安全事業株式会社が行う PCB 廃棄物処理事業における処理料金を計上している。
- ・「賞与引当金」には、会計年度末以降の賞与支給見込額に基づき、会計年度末までの期間に対応する金額を計上している。
- ・「環境再生保全機構債券」には、（独）環境再生保全機構が発行した債券を計上している。
- ・「PCB 基金預り金」には、中小企業者等が保管する PCB 廃棄物の処理費用の軽減等を目的として、（独）環境再生保全機構において造成された基金を計上している。
- ・「借入金」には、（独）環境再生保全機構における財政融資資金借入金、民間借入金、日本環境安全事業（株）における民間借入金を計上している。
- ・「退職給付引当金」には、退職手当、整理資源、国家公務員災害補償年金に係る引当額を計上している。
- ・「その他の債務等」には、独立の科目で表示している債務以外の債務等を計上している。

#### ② 連結業務費用計算書

- ・「人件費」には、職員の給与及び諸手当、賞与、法定福利費、国家公務員共済組合負担金、基礎年金国家公務員共済組合負担金を計上している。
- ・「賞与引当金繰入額」には、賞与支給見込額のうち、当該年度に帰属する額を計上している。
- ・「退職給付引当金繰入額」には、退職給付引当金への繰入額を計上している。
- ・「売上原価」には、（独）環境再生保全機構が行っていた建設譲渡事業に係る売上原価及び、日本環境安全事業（株）が行う PCB 廃棄物処理事業等に係る売上原価を計上している。
- ・「補助金等」には、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第 22 条の規定により、災害その他の事由により特に必要となった廃棄物の処理を行うために要する費用の一部補助等に係る支出額や地方公共団体が施行する廃棄物処理施設整備の事業に対する補助等に係る支出額を計上している。
- ・「委託費」には、地球温暖化防止を目的とした調査及び温暖化防止活動支援事業等を民間団体等へ委託した額等を計上している。
- ・「交付金」には、（独）環境再生保全機構が地方公共団体等に対して、公害健康被害の補償等に関する法律に基づいて交付した額等を計上している。
- ・「分担金」には、国際再生可能エネルギー機関に対する分担金を計上している。

- ・「拠出金」には、生物多様性条約事務局が行う生物多様性保全の取組や持続可能な遺伝自然利用の事例収集等の支援に必要な経費等の拠出額を計上している。
- ・「労働保険特別会計への繰入」には、労働保険特別会計に要する費用の財源に充てるため、労働保険特別会計への繰入額を計上している。
- ・「庁費等」には、一般会計、特別会計における決算書の使途別分類が「物件費」及び「施設費」に該当するもののうち、他の科目で計上されていないものであって資産計上されていないものを計上している。
- ・「その他の経費」には、一般会計、特別会計における決算書の使途別分類が「旅費」及び「その他」に該当するもの並びに単独の科目で表示するには金額の少ないもの等の他、連結対象法人における業務費、一般管理費、その他経費を計上している。（但し、上記で区分掲載されたものを除く）
- ・「減価償却費」には、有形固定資産及び無形固定資産に係る当期減価償却費を計上している。
- ・「貸倒引当金繰入額」には、債権等の貸倒れに伴う費用及び損失の見込額のうち、当該年度において負担する額を計上している。
- ・「支払利息」には、借入金、債券等に係る利息額を計上している。
- ・「為替換算差損益」には、外貨建金銭債権債務の換算差額を計上している。
- ・「資産処分損益」には、固定資産の除却損及び売却損を計上している。

### ③ 連結資産・負債差額増減計算書

- ・「前年度末資産・負債差額」には、前年度の連結貸借対照表の「資産・負債差額」の額を計上している。
- ・「本年度業務費用合計」には、連結業務費用計算書の「本年度業務費用合計」の額を計上している。
- ・「主管の財源」には、国立公園及び国民公園の環境省所管地においてホテル、売店を営む者からの土地使用料及び新宿御苑の入場料等を計上している。
- ・「配賦財源」には、環境省所管歳入歳出決算上の支出済歳出額と収納済歳入額の差額を計上している。
- ・「自己収入」には、雑収入を計上している。
- ・「独立行政法人等収入」には、連結対象法人における業務活動に伴う収入額を計上している。
- ・「無償所管換等」には、国有財産の無償所管換額、国有財産台帳の誤謬訂正額等を計上している。
- ・「資産評価差額」には、国有財産の台帳価格の改定に伴う評価差額等を計上している。
- ・「その他資産・負債差額の増減」には、財務書類作成上生じた発生原因が不明な差額等を計上している。
- ・「本年度末資産・負債差額」には、本年度の連結貸借対照表の「資産・負債差額」の額を計上している。

### ④ 連結区分別収支計算書

#### ア 業務収支

- ・「主管の収納済歳入額」には、国立公園及び国民公園の環境省所管地においてホテル、売店を営む者からの土地使用料及び新宿御苑の入場料等の収入額を計上している。
- ・「配賦財源」には、環境省所管歳入歳出決算上の支出済歳出額と収納済歳入額の差額を計上している。
- ・「自己収入」には、雑収入を計上している。
- ・「独立行政法人等収入」には、連結対象法人における業務活動に伴う収入額を計上している（但し上記で区分掲載されたものは除く）。
- ・「貸付金の回収による収入」には、（独）環境再生保全機構の貸付金の当期回収額を計上している。
- ・「有価証券売却等収入」には、（独）環境再生保全機構の有価証券の当期償還による収入額を計上している。
- ・「その他の投資による収入」には、（独）環境再生保全機構及び日本環境安全事業（株）の敷金・

保証金の当期回収額等を計上している。

- ・「前年度剰余金等受入」には、エネルギー対策特別会計の前年度剰余金及び連結対象法人の前期末現金・預金残高を計上している。
- ・「人件費」には、職員の給与及び諸手当、賞与、法定福利費、国家公務員共済組合負担金、基礎年金国家公務員共済組合負担金に係る支出額を計上している。
- ・「売上原価」には、日本環境安全事業（株）が行う PCB 廃棄物処理事業に係る売上原価を計上している。
- ・「補助金等」には、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第 22 条の規定により、災害その他の事由により特に必要となった廃棄物の処理を行うために要する費用の一部補助等に係る支出額や地方公共団体が施行する廃棄物処理施設整備の事業に対する補助等に係る支出額を計上している。
- ・「委託費」には、地球温暖化防止を目的とした調査及び温暖化防止活動支援事業等を民間団体等へ委託した額等を計上している。
- ・「交付金」には、（独）環境再生保全機構が地方公共団体等に対して、公害健康被害の補償等に関する法律に基づいて交付した額等を計上している。
- ・「分担金」には、国際再生可能エネルギー機関に対する分担金を計上している。
- ・「拠出金」には、生物多様性条約事務局が行う生物多様性保全の取組や持続可能な遺伝自然利用の事例収集等の支援に必要な経費等の拠出額を計上している。
- ・「労働保険特別会計への繰入」には、労働保険特別会計に要する費用の財源に充てるため、労働保険特別会計への繰入額を計上している。
- ・「庁費等の支出」には、一般会計、特別会計における決算書の使途別分類が「物件費」及び「施設費」に該当するもののうち、他の科目で計上されていないものであって資産計上されていないものを計上している。
- ・「有価証券の取得による支出」には、（独）環境再生保全機構の有価証券の当期取得支出を計上している。
- ・「その他の支出」には、上記以外の業務活動に伴う支出を計上している（但し、施設整備支出を除く）。
- ・「土地に係る支出」には、当該年度の土地の取得に係る支出を計上している。
- ・「立木竹に係る支出」には、当該年度の立木竹の取得に係る支出を計上している。
- ・「建物に係る支出」には、当該年度の建物の取得に係る支出を計上している。
- ・「工作物に係る支出」には、当該年度の工作物の取得に係る支出を計上している。
- ・「建設仮勘定に係る支出」には、会計年度末に未完成の工事等に係る支出を計上している。
- ・「独立行政法人等における固定資産取得支出」には、（独）国立環境研究所、（独）環境再生保全機構、及び日本環境安全事業（株）の当期固定資産取得に係る支出額を計上している。
- ・「業務収支」には、財源合計から業務支出合計を控除した額を計上している。

#### イ 財務収支

- ・「借入による収入」には、民間金融機関等からの借入金に係る収入を計上している。
- ・「借入金の返済による支出」には、民間金融機関等への借入金返済支出を計上している。
- ・「債券の発行による収入」には、債券の発行による収入を計上している。
- ・「リース債務の返済による支出」には、連結対象法人におけるリース債務の返済支出を計上している。
- ・「利息の支払額」には、公債、政府短期証券、借入金及び債券に係る利子支払額を計上している。
- ・「民間出えん金等による収入」には、（独）環境再生保全機構の民間出えん金の受入による収入額を計上している。
- ・「その他の財務収支」には、（独）国立環境研究所の資金に係る換算差額及び（独）環境再生保全機構の債券発行費等を計上している。



ウ 本年度収支以下の区分

- ・「本年度収支」には、業務収支と財務収支を合計した額を計上している。
- ・「翌年度歳入繰入等」には、「本年度収支」を計上している。
- ・「本年度末現金・預金残高」には、「翌年度歳入繰入等」を計上している。計上している額は、連結貸借対照表の「現金・預金」と一致する。

(2) その他省庁別連結財務書類の内容を理解するために特に必要と考えられる情報

- ① 環境省と連結対象法人（その連結子会社を含む）間及び連結対象法人（その連結子会社を含む）間の債権債務等について相殺消去を行っている。
- ② 百万円未満切り捨てのため、合計が一致しないことがある。
- ③ 百万円未満の計数がある場合には「0」で表示し、該当計数が皆無の場合には「-」で表示している。
- ④ 平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響による国有財産の損害見積額は219百万円である（平成24年9月末時点において報告している国有財産の滅失又は損傷の通知等に基づき集計した額）。

附属明細書

1 連結対象法人別の資産及び負債の明細

(単位：百万円)

	環境省	独立行政法人 国立環境研究 所	独立行政法人 環境再生保全 機構	特殊会社 日本環境安全 事業株式会社	連結対象法人 合計	相殺消去
<資産の部>						
現金・預金	18,674	4,206	108,004	15,566	127,776	-
売掛金	-	-	65,212	2,277	67,490	-
有価証券	-	-	137,577	-	137,577	-
たな卸資産	-	148	-	2,456	2,604	-
未収金	442	1,350	464	992	2,808	△ 443
未収収益	-	-	297	-	297	-
前払金	6	-	-	353	353	-
前払費用	7	20	3	996	1,020	-
貸付金	-	-	6,634	-	6,634	-
破産更生債権等	-	-	3,749	-	3,749	-
その他の債権等	8	0	-	-	0	-
貸倒引当金	△ 192	-	△ 13,832	-	△ 13,832	-
有形固定資産	306,120	32,933	164	54,733	87,831	21,664
国有財産等（公共用財産を 除く）	303,986	30,876	141	36,468	67,486	△ 1,149
土地	267,135	14,330	89	4,082	18,502	-
立木竹	1,812	-	-	-	-	-
建物	13,882	15,297	-	15,806	31,104	-
工作物	20,920	1,242	51	7,192	8,486	-
船舶	1	0	-	-	0	-
建設仮勘定	233	5	-	9,386	9,392	△ 1,149
物品等	2,133	2,057	23	18,264	20,345	22,813
無形固定資産	46	87	136	783	1,008	-
出資金	100,907	-	-	-	-	△ 100,907
その他の投資等	-	18	236	252	507	-
<b>資産合計</b>	<b>426,019</b>	<b>38,766</b>	<b>308,649</b>	<b>78,411</b>	<b>425,827</b>	<b>△ 79,686</b>
<負債の部>						
未払金	14	4,173	1,814	10,790	16,778	△ 1,419
未払費用	64	-	401	2	403	-
保管金等	-	83	64,886	19	64,989	-
前受金	-	6	-	3,856	3,862	-
賞与引当金	695	223	76	98	398	-
環境再生保全機構債券	-	-	24,998	-	24,998	-
PCB基金預り金	-	-	1,682	-	1,682	18,756
借入金	-	-	27,992	114,700	142,692	-
退職給付引当金	15,344	1,883	1,654	754	4,291	-
その他の債務等	-	390	5,967	8,872	15,229	△ 8,666
<b>負債合計</b>	<b>16,118</b>	<b>6,759</b>	<b>129,473</b>	<b>139,094</b>	<b>275,327</b>	<b>8,669</b>
<資産・負債差額の部>						
資産・負債差額	409,900	32,007	179,176	△ 60,683	150,500	△ 88,356

(単位：百万円)

	連結合計
<資産の部>	
現金・預金	146,450
売掛金	67,490
有価証券	137,577
たな卸資産	2,604
未収金	2,806
未収収益	297
前払金	359
前払費用	1,028
貸付金	6,634
破産更生債権等	3,749
その他の債権等	8
貸倒引当金	△ 14,025
有形固定資産	415,616
国有財産等（公共用財産を除く）	370,323
土地	285,638
立木竹	1,812
建物	44,987
工作物	29,406
船舶	1
建設仮勘定	8,476
物品等	45,292
無形固定資産	1,054
出資金	-
その他の投資等	507
<b>資産合計</b>	<b>772,160</b>
<負債の部>	
未払金	15,373
未払費用	467
保管金等	64,989
前受金	3,862
賞与引当金	1,093
環境再生保全機構債券	24,998
PCB基金預り金	20,438
借入金	142,692
退職給付引当金	19,636
その他の債務等	6,563
<b>負債合計</b>	<b>300,115</b>
<資産・負債差額の部>	
資産・負債差額	472,044

2 連結対象法人別の業務費用の明細

(単位：百万円)

	環境省	独立行政法人 国立環境研究 所	独立行政法人 環境再生保全 機構	特殊会社 日本環境安全 事業株式会社	連結対象法人 合計	相殺消去
人件費	10,554	4,647	1,035	635	6,318	-
賞与引当金繰入額	695	-	76	39	115	-
退職給付引当金繰入額	756	-	203	38	241	-
売上原価	-	-	10,225	34,288	44,514	-
補助金等	667,167	-	37	-	37	△ 19,611
委託費	31,942	5,489	-	-	5,489	△ 1,679
独立行政法人運営費交付金	15,451	-	-	-	-	△ 15,451
交付金	9,167	-	11,170	-	11,170	△ 9,167
分担金	45	-	-	-	-	-
拠出金	6,421	-	-	-	-	-
労働保険特別会計への繰入	80	-	-	-	-	-
庁費等	30,676	-	-	-	-	-
その他の経費	1,079	4,024	44,554	10,565	59,144	△ 10,424
減価償却費	5,448	2,889	82	72	3,044	8,403
貸倒引当金繰入額	28	-	-	-	-	-
支払利息	-	9	963	1,041	2,013	-
為替換算差損益	△ 3	-	-	-	-	-
資産処分損益	1,039	19	0	25	44	-
<b>本年度業務費用合計</b>	<b>780,550</b>	<b>17,081</b>	<b>68,348</b>	<b>46,705</b>	<b>132,136</b>	<b>△ 47,930</b>

(単位：百万円)

その他の経費内訳	環境省	独立行政法人 国立環境研究 所	独立行政法人 環境再生保全 機構	特殊会社 日本環境安全 事業株式会社	連結対象法人 合計	相殺消去
省庁別財務書類でのその他の 経費	1,079	-	-	-	-	-
連結対象法人での業務費用	-	3,744	44,180	-	47,925	△ 1,758
連結対象法人での一般管理費	-	276	359	892	1,528	-
連結対象法人でのその他の経 費	-	3	14	9,673	9,690	△ 8,666
<b>計</b>	<b>1,079</b>	<b>4,024</b>	<b>44,554</b>	<b>10,565</b>	<b>59,144</b>	<b>△ 10,424</b>

(単位：百万円)

	連結合計
人件費	16,873
賞与引当金繰入額	811
退職給付引当金繰入額	997
売上原価	44,514
補助金等	647,593
委託費	35,753
独立行政法人運営費交付金	-
交付金	11,170
分担金	45
拠出金	6,421
労働保険特別会計への繰入	80
庁費等	30,676
その他の経費	49,798
減価償却費	16,896
貸倒引当金繰入額	28
支払利息	2,013
為替換算差損益	△ 3
資産処分損益	1,083
<b>本年度業務費用合計</b>	<b>864,755</b>

(単位：百万円)

その他の経費内訳	連結合計
省庁別財務書類でのその他の経費	1,079
連結対象法人での業務費用	46,167
連結対象法人での一般管理費	1,528
連結対象法人でのその他の経費	1,024
<b>計</b>	<b>49,798</b>

3 連結対象法人別の資産・負債差額の増減の明細

(単位：百万円)

	環境省	独立行政法人 国立環境研究 所	独立行政法人 環境再生保全 機構	特殊会社日本 環境安全事業 株式会社	連結対象法人 合計	相殺消去
I 前年度末資産・負債差額	407,203	33,221	138,578	△ 60,910	110,890	△ 117,778
II 本年度業務費用合計	△ 780,550	△ 17,081	△ 68,348	△ 46,705	△ 132,136	47,930
III 財源	785,813	17,029	108,946	46,932	172,908	△ 43,352
主管の財源	3,901	-	-	-	-	-
配賦財源	781,654	-	-	-	-	-
自己収入	257	-	-	-	-	-
独立行政法人等収入	-	17,029	108,946	46,932	172,908	△ 43,352
IV 無償所管換等	967	-	-	-	-	-
V 資産評価差額	△ 3,534	-	-	-	-	636
VI その他資産・負債差額の 増減	-	△ 1,162	-	-	△ 1,162	24,207
VII 本年度末資産・負債差額	409,900	32,007	179,176	△ 60,683	150,500	△ 88,356

(単位：百万円)

	連結合計
I 前年度末資産・負債差額	400,315
II 本年度業務費用合計	△ 864,755
III 財源	915,369
主管の財源	3,901
配賦財源	781,654
自己収入	257
独立行政法人等収入	129,555
IV 無償所管換等	967
V 資産評価差額	△ 2,897
VI その他資産・負債差額の 増減	23,045
VII 本年度末資産・負債差額	472,044

4 連結対象法人別の区分別収支の明細

(単位：百万円)

	環境省	独立行政法人 国立環境研究 所	独立行政法人 環境再生保全 機構	特殊会社日本 環境安全事業 株式会社	連結対象法人 合計	相殺消去
I 業務収支						
1 財源						
主管の収納済歳入額	3,892	-	-	-	-	-
配賦財源	781,654	-	-	-	-	-
自己収入	237	-	-	-	-	-
独立行政法人等収入	-	17,414	88,134	51,116	156,665	△ 47,667
貸付金の回収による収入	-	-	2,733	-	2,733	-
有価証券売却等収入	-	-	64,390	-	64,390	-
その他の投資による収入	-	-	6	0	7	-
前年度剰余金等受入	10,711	4,858	108,446	10,168	123,473	-
財源合計	796,495	22,273	263,712	61,285	347,270	△ 47,667
2 業務支出						
(1) 業務支出（施設整備 支出を除く）						
人件費	△ 12,099	△ 4,818	△ 1,247	△ 713	△ 6,779	-
売上原価	-	-	-	△ 23,590	△ 23,590	-
補助金等	△ 667,167	-	△ 33	-	△ 33	19,611
委託費	△ 31,632	-	△ 3	-	△ 3	1,679
独立行政法人等運営 費交付金	△ 15,451	-	-	-	-	15,451
交付金	△ 9,167	-	△ 10,697	-	△ 10,697	9,167
分担金	△ 51	-	-	-	-	-
拠出金	△ 6,421	-	-	-	-	-
労働保険特別会計へ の繰入	△ 31,440	-	-	-	-	-
庁費等の支出	△ 81	-	-	-	-	-
有価証券の取得によ る支出	-	-	△ 82,355	-	△ 82,355	-
その他の支出	△ 1,017	△ 11,351	△ 49,413	△ 10,066	△ 70,832	1,758
業務支出（施設整備支出 を除く）合計	△ 774,531	△ 16,170	△ 143,750	△ 34,370	△ 194,290	47,667
(2) 施設整備支出						
土地に係る支出	△ 72	-	-	-	-	-
立木竹に係る支出	△ 60	-	-	-	-	-
建物に係る支出	△ 714	-	-	-	-	-
工作物に係る支出	△ 2,208	-	-	-	-	-
建設仮勘定に係る支 出	△ 233	-	-	-	-	-
独立行政法人等にお ける固定資産取得支 出	-	△ 1,211	△ 37	△ 3,409	△ 4,658	-
施設整備支出合計	△ 3,289	△ 1,211	△ 37	△ 3,409	△ 4,658	-
業務支出合計	△ 777,820	△ 17,381	△ 143,787	△ 37,780	△ 198,949	47,667
業務収支	18,674	4,891	119,924	23,505	148,320	-
II 財務収支						
借入による収入	-	-	-	16,200	16,200	-
借入金の返済による支出	-	-	△ 16,096	△ 23,100	△ 39,196	-
債券の発行による収入	-	-	5,000	-	5,000	-
リース債務の返済による支 出	-	△ 675	-	-	△ 675	-
利息の支払額	-	△ 9	△ 852	△ 1,038	△ 1,901	-

(単位：百万円)

	連結合計
I 業務収支	
1 財源	
主管の収納済歳入額	3,892
配賦財源	781,654
自己収入	237
独立行政法人等収入	108,997
貸付金の回収による収入	2,733
有価証券売却等収入	64,390
その他の投資による収入	7
前年度剰余金等受入	134,184
財源合計	1,096,098
2 業務支出	
(1) 業務支出（施設整備支出を除く）	
人件費	△ 18,879
売上原価	△ 23,590
補助金等	△ 647,589
委託費	△ 29,956
独立行政法人等運営費交付金	-
交付金	△ 10,697
分担金	△ 51
拠出金	△ 6,421
労働保険特別会計への繰入	△ 31,440
庁費等の支出	△ 81
有価証券の取得による支出	△ 82,355
その他の支出	△ 70,091
業務支出（施設整備支出を除く）合計	△ 921,154
(2) 施設整備支出	
土地に係る支出	△ 72
立木竹に係る支出	△ 60
建物に係る支出	△ 714
工作物に係る支出	△ 2,208
建設仮勘定に係る支出	△ 233
独立行政法人等における固定資産取得支出	△ 4,658
施設整備支出合計	△ 7,948
業務支出合計	△ 929,103
業務収支	166,995
II 財務収支	
借入による収入	16,200
借入金の返済による支出	△ 39,196
債券の発行による収入	5,000
リース債務の返済による支出	△ 675
利息の支払額	△ 1,901



(単位：百万円)

	環境省	独立行政法人 国立環境研究 所	独立行政法人 環境再生保全 機構	特殊会社日本 環境安全事業 株式会社	連結対象法人 合計	相殺消去
民間の出えん金等による収入	-	-	42	-	42	-
その他の財務収支	-	-	△ 14	-	△ 14	-
財務収支	-	△ 685	△ 11,920	△ 7,938	△ 20,544	-
本年度収支	18,674	4,206	108,004	15,566	127,776	-
翌年度歳入繰入等	18,674	4,206	108,004	15,566	127,776	-
本年度末現金・預金残高	18,674	4,206	108,004	15,566	127,776	-

(単位：百万円)

	連結合計
民間の出えん金等による収入	42
その他の財務収支	△ 14
財務収支	△ 20,544
本年度収支	146,450
翌年度歳入繰入等	146,450
本年度末現金・預金残高	146,450

# 平成 23 年度

## 環境省 一般会計省庁別財務書類

### 〔留意事項〕

- ・ 本財務書類は、「省庁別財務書類の作成基準」に基づいて作成しております。
- ・ 一般会計省庁別財務書類は、各省庁における財務情報の提供等を目的として一般会計を各省庁単位で区分し、各省庁に資産や負債が帰属すると擬制するなどの一定の仮定に基づいて作成するものであり、各省庁が会計的に独立しているものではない点にご留意下さい。
- ・ 一般会計省庁別財務書類を充分理解して頂くため、「省庁別財務書類の作成基準」及び各省庁の所掌する業務内容等も併せてご覧下さい。



## 貸 借 対 照 表

(単位：百万円)

	前会計年度	本会計年度		前会計年度	本会計年度
	(平成23年 3月31日)	(平成24年 3月31日)		(平成23年 3月31日)	(平成24年 3月31日)
<資産の部>			<負債の部>		
未収金	273	283	未払金	19	14
前払金	316	6	未払費用	14	64
前払費用	6	7	賞与引当金	671	695
その他の債権等	18	8	退職給付引当金	15,454	15,344
貸倒引当金	△ 29	△ 34			
有形固定資産	310,470	306,120			
国有財産(公共用 財産を除く)	308,774	303,986			
土地	269,770	267,135			
立木竹	1,907	1,812			
建物	14,186	13,882			
工作物	22,395	20,920			
船舶	2	1			
建設仮勘定	512	233			
物品	1,695	2,133	負債合計	16,159	16,118
無形固定資産	58	46	<資産・負債差額の部>		
出資金	101,544	100,907	資産・負債差額	396,498	391,226
資産合計	412,658	407,345	負債及び資産・ 負債差額合計	412,658	407,345

## 業務費用計算書

(単位：百万円)

	前会計年度 (自 平成22年 4月 1日) (至 平成23年 3月31日)	本会計年度 (自 平成23年 4月 1日) (至 平成24年 3月31日)
人件費	10,285	10,554
賞与引当金繰入額	671	695
退職給付引当金繰入額	830	756
補助金等	243,793	661,614
委託費	13,224	11,495
交付金	9,621	9,167
分担金	16	15
拠出金	4,027	6,121
独立行政法人運営費交付金	14,117	15,451
エネルギー対策特別会計への繰入	35,500	34,100
労働保険特別会計への繰入	89	80
庁費等	28,377	30,650
その他の経費	954	1,067
減価償却費	1,905	5,448
貸倒引当金繰入額	7	4
資産処分損益	192	1,039
本年度業務費用合計	363,615	788,261

## 資産・負債差額増減計算書

(単位：百万円)

	前会計年度 (自 平成22年 4月 1日) (至 平成23年 3月31日)	本会計年度 (自 平成23年 4月 1日) (至 平成24年 3月31日)
I 前年度末資産・負債差額	377,681	396,498
II 本年度業務費用合計	△ 363,615	△ 788,261
III 財源	367,780	785,556
主管の財源	6,257	3,901
配賦財源	361,522	781,654
IV 無償所管換等	4,644	967
V 資産評価差額	10,007	△ 3,534
VI 本年度末資産・負債差額	396,498	391,226

## 区分別収支計算書

(単位：百万円)

	前会計年度 (自 平成22年 4月 1日) (至 平成23年 3月31日)	本会計年度 (自 平成23年 4月 1日) (至 平成24年 3月31日)
I 業務収支		
1 財源		
主管の収納済歳入額	6,275	3,892
配賦財源	361,522	781,654
財源合計	367,798	785,546
2 業務支出		
(1)業務支出(施設整備支出を除く)		
人件費	△ 11,889	△ 12,099
補助金等	△ 243,793	△ 661,614
委託費	△ 13,540	△ 11,185
交付金	△ 9,621	△ 9,167
分担金	△ 16	△ 15
拠出金	△ 4,027	△ 6,121
独立行政法人運営費交付金	△ 14,117	△ 15,451
エネルギー対策特別会計への繰入	△ 35,500	△ 34,100
労働保険特別会計への繰入	△ 83	△ 81
庁費等の支出	△ 28,710	△ 31,414
その他の支出	△ 961	△ 1,005
業務支出(施設整備支出を除く)合計	△ 362,261	△ 782,257
(2)施設整備支出		
土地に係る支出	△ 201	△ 72
立木竹に係る支出	△ 56	△ 60
建物に係る支出	△ 922	△ 714
工作物に係る支出	△ 3,843	△ 2,208
建設仮勘定に係る支出	△ 512	△ 233
施設整備支出合計	△ 5,536	△ 3,289
業務支出合計	△ 367,798	△ 785,546
業務収支	-	-
II 財務収支		
財務収支	-	-
本年度収支	-	-
翌年度歳入繰入	-	-
本年度末現金・預金残高	-	-



1 重要な会計方針

(1) 減価償却の方法等

① 有形固定資産

国有財産（公共用財産を除く）については、国有財産台帳の価格改定に適用される耐用年数に基づく定率法（平成 19 年 4 月 1 日以降に新築した建物は定額法）によっている。なお、残存価額まで到達している国有財産（公共用財産を除く）」については、耐用年数を経過した翌会計年度から 5 年間で備忘価格 1 円まで均等償却を行っている。

物品については、「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」に定める耐用年数に基づく、残存価額を取得原価の 10%とした定額法によっている。なお、残存価額まで到達している物品については、耐用年数を経過した翌会計年度から 5 年間で備忘価格 1 円まで均等償却を行っている。

② 無形固定資産

ソフトウェアについては、利用可能期間（5 年）の開発費等の累計額を資産価額とし、利用可能期間に基づく定額法によっている。

(2) 出資金の評価基準及び評価方法

① 市場価格のないもの

全て「国有財産法」の規定により政府出資等として管理されている出資金であり、会計年度末における国有財産台帳価格によって評価している。

(3) 引当金の計上基準及び算定方法

① 貸倒引当金

未収金等のうち一般債権については、過去 3 年間の貸倒実績率に基づく回収不能見込額を計上している。履行期限到来等債権等の特定の債権については、個別の債権ごとの回収可能性を勘案した回収不能見込額を計上している。

② 賞与引当金

6 月支給分の期末手当及び勤勉手当の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分（期末手当及び勤勉手当の 6 月支給分の 4/6）を計上している。

③ 退職給付引当金

退職手当に係る退職給付引当金については、自己都合による期末要支給額を、次の計算方法により計上している。

- ・基本額 … 勤続年数別の職員数 × 平均給与 × 自己都合退職手当支給率
- ・調整額 … 「国家公務員退職手当法」第 6 条の 4 に定められた区分別の職員数 × 想定される調整月額単価 × 60 ヶ月

国家公務員共済年金のうち、整理資源（昭和 34 年 10 月前の恩給公務員期間に係る給付分）に係る引当金については、将来給付見込額の割引現在価値を計上している。

「国家公務員災害補償法」に基づく補償のうち、遺族補償年金に係る引当金については、「支給率×平均給与×割引率」により算出し、遺族特別給付金（年金）に係る引当金については、「遺族補償年金に係る引当金の額×特別支給率」により算出した額を計上している。

(4) その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

① 消費税等の会計処理方法

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

② 退職給付引当金の算定において用いる平均給与上昇率及び割引率について

- ・平均給与上昇率 : 2.5%
- (平成 21 年財政検証で用いられている長期的な賃金上昇率による)
- ・割引率 : 4.1%

(平成 21 年財政検証で用いられている長期的な運用利回りによる)

## 2 重要な会計方針の変更

### (1) 固定資産の評価基準の改訂

本会計年度より、国有財産（公共財産を除く）及び物品について、残存価額まで到達したものにかかる翌会計年度から備忘価格 1 円までの 5 年間均等償却額を業務費用計算書上の減価償却費として処理している。この変更は、国有財産台帳の価格改定に関する評価要領が改定（平成 22 年 5 月 31 日財理第 1874 号）されたこと等による。

なお、この変更により、本会計年度の貸借対照表において、国有財産（公共用財産を除く）が 1,151 百万円、物品が 104 百万円減少し、本会計年度の業務費用計算書において、減価償却費が 1,256 百万円増加している。

## 3 重要な後発事象

### (1) 各省庁の組織・機構の大幅な変更

- ① 平成 24 年 9 月、環境省の外局として原子力規制委員会が設置された。
- ② 一般会計に所属する権利義務の一部については、「特別会計に関する法律の一部を改正する法律」（平成 24 年法律第 15 号）の規定に基づき、翌年度以降、東日本大震災復興特別会計に帰属することとされている。

## 4 偶発債務

### (1) 係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているもの

(単位：百万円)

訴訟の略称	請求金額	事件番号	訴訟の概要
新潟水俣病第3次訴訟	156	平成19年 (ワ)第279号 他	阿賀野川周辺に居住していた原告が、新潟水俣病に罹患した患者であるとして、国、新潟県及び昭和電工株式会社に対して損害賠償金の支払いを求めるもの。
互助会訴訟	228	平成19年 (ワ)第1355号	「水俣病被害者互助会」に所属する原告が、水俣病に罹患した患者であるとして、国、熊本県及びチッソ株式会社に対して損害賠償金の支払いを求めるもの。
種の保存法関係損害賠償請求	0	平成22年 (ワ)第1111号	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」に係る登録の取消しを受けた原告が、国及び財団法人自然環境研究センターに対して損害賠償金の支払いを求めるもの。
合計	384		

(注) 訴訟の見込、結果にかかわらず、平成24年3月31日現在の請求金額を記載している。

## 5 翌年度以降支出予定額

### (1) 歳出予算の繰越し

歳出予算の繰越しに係る翌年度の支出予定額 128,702 百万円

### (2) 国庫債務負担行為

国庫債務負担行為による翌年度以降に係る支出予定額 10,419 百万円

## 6 追加情報

### (1) 出納整理期間

出納整理期間が設けられており、出納整理期間中の現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としている。

- (2) 貸倒引当金を計上している債権のうち、徴収可能性に重大な懸念が生じているもの  
債権の種類：国有財産貸付に係る債権及び弁償及び損害賠償金に係る債権  
懸念の内容：納付期限を超えての長期滞納、相手先の倒産  
金額：国有財産貸付に係る債権 141 百万円、弁償及び返納金債権 9 百万円

(3) 表示科目の説明

① 貸借対照表

ア 資産の部

- ・「未収金」には、国有財産貸付に係る債権、弁償及び返納金債権等を計上している。
- ・「前払金」には、繰越した国立公園等整備事業の設計業務で前金払いを行った額を計上している。
- ・「前払費用」には、翌年度以降分の自賠責保険料等を計上している。
- ・「その他の債権等」には、財政投融资特別会計特定国有財産整備勘定への前渡不動産を計上している。
- ・「貸倒引当金」には、未収金に対する貸倒見積額を計上している。
- ・「国有財産（公共用財産を除く）」には、建設仮勘定を除き、国有財産台帳価格を計上している。
- ・「土地」には、主に新宿御苑等の国民公園及び千鳥ヶ淵戦没者墓苑並びに国立公園内の環境省所管地等を計上している。
- ・「立木竹」には、主に国民公園内のサクラ、クロマツ、ユリの木、クスノキ等を計上している。
- ・「建物」には、主に国立公園内の博物展示施設（ビジターセンター）、公衆トイレ及び地方出先機関の事務所建物等を計上している。
- ・「工作物」には、主に国立公園内の歩道（木道）、野営場、休憩舎及び標識等を計上している。
- ・「船舶」には、主に皇居外苑管理事務所のボート等を計上している。
- ・「建設仮勘定」には、将来的に国の資産となるべき事業（主に国立公園等における園地、野営場等の整備及び長距離自然歩道の整備等）について、対象年度末時点における既支払額を計上している。
- ・「物品」には、取得価格（見積価格）が 50 万円以上の物品について、取得価格から減価償却費相当額を控除した後の価額で計上している。
- ・「無形固定資産」には、電話加入権等については取得価格、ソフトウェア等については取得に要した費用又は国有財産台帳価格から減価償却費相当額を控除した後の価額で計上している。
- ・「出資金」には、国有財産として管理されている政府出資のうち、政策目的をもって保有しているものを計上している。

イ 負債の部

- ・「未払金」には、子ども手当に係る未払額を計上している。
- ・「未払費用」には、職員に係る人件費や事業者に対する未払額等を計上している。
- ・「賞与引当金」には、6 月支給の期末手当・勤勉手当に係る本会計年度分を計上している。
- ・「退職給付引当金」には、退職手当のほか、整理資源、国家公務員災害補償年金に係る引当金を計上している。

② 業務費用計算書

- ・「人件費」には、決算書の用途別分類が「人件費」に該当するもののうち職員等に係るもの（職員の手当、非常勤職員の手当及び休職者の手当等）及び決算書の用途別分類が「補助費・委託費」に該当するもののうち国家公務員共済組合負担金等として支出した額に、子ども手当の未払金や退職手当、賞与及び国家公務員災害補償年金に関する引当金等の発生主義による調整を行ったものを計上している。
- ・「賞与引当金繰入額」には、6 月支給の期末手当及び勤勉手当の支給見込額のうち当該年度に帰属する部分を計上している。
- ・「退職給付引当金繰入額」には、退職給付引当金への繰入額を計上している。

- ・「補助金等」には、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第22条の規定により、災害その他の事由により特に必要となった廃棄物の処理を行うために要する費用の一部補助等に係る支出額を計上している。
- ・「委託費」には、自然環境の保全のために講ずべき施策の策定に必要な基本調査等を地方公共団体等へ委託した額を計上している。
- ・「交付金」には、独立行政法人環境再生保全機構に対して「公害健康被害の補償等に関する法律」に基づいて交付した額を計上している。
- ・「分担金」には、経済協力開発機構が行う化学品プロジェクト実施のために必要な経費等の分担金を計上している。
- ・「拋出金」には、生物多様性条約事務局が行う生物多様性保全の取組や持続可能な遺伝自然利用の事例収集等の支援に必要な経費等の拋出額を計上している。
- ・「独立行政法人運営費交付金」には、独立行政法人国立環境研究所及び独立行政法人環境再生保全機構に対する運営費交付金を計上している。
- ・「エネルギー対策特別会計への繰入」には、エネルギー需要構造高度化対策に要する費用の財源に充てるため、石油石炭税収入相当額のエネルギー対策特別会計への繰入額を計上している。
- ・「労働保険特別会計への繰入」には、労働保険特別会計に要する費用の財源に充てるため、労働保険特別会計への繰入額を計上している。
- ・「庁費等」には、決算書の使途別分類が「物件費」及び「施設費」に該当するもののうち、他の科目で計上されていないものであって資産計上されていないものを計上している。
- ・「その他の経費」には、決算書の使途別分類が「旅費」及び「その他」に該当するもの並びに単独の科目で表示するには金額の少ないもの等を計上している。
- ・「減価償却費」には、有形固定資産及び無形固定資産に係る減価償却費を計上している。
- ・「貸倒引当金繰入額」には、債権等の貸倒れに伴う費用及び損失の見込額のうち、当該年度に係る額を計上している。
- ・「資産処分損益」には、有形固定資産及び無形固定資産等の除却に伴い生じた損益を計上している。

#### ③ 資産・負債差額増減計算書

- ・「前年度末資産・負債差額」には、前年度の貸借対照表の「資産・負債差額」の額を計上している。
- ・「本年度業務費用合計」には、業務費用計算書の「本年度業務費用合計」の額を計上している。
- ・「主管の財源」には、国立公園及び国民公園の環境省所管地においてホテル等を営む者からの土地使用料及び新宿御苑の入園料等を計上している。
- ・「配賦財源」には、環境省所管歳出決算上の支出済歳出額と環境省主管歳入決算上の収納済歳入額との差額を計上している。
- ・「無償所管換等」には、国有財産の無償所管換額、国有財産台帳の誤謬訂正額等を計上している。
- ・「資産評価差額」には、出資金の評価差額（強制評価減に係るものを除く）及び国有財産の台帳価格の改定に伴う評価差額等を計上している。
- ・「本年度末資産・負債差額」には、本年度の貸借対照表の「資産・負債差額」の額を計上している。

#### ④ 区分別収支計算書

##### ア 業務収支

- ・「主管の収納済歳入額」には、国立公園及び国民公園の環境省所管地においてホテル等を営む者からの土地使用料及び新宿御苑の入園料等を計上している。
- ・「配賦財源」には、環境省所管歳入歳出決算上の支出済歳出額と収納済歳入額の差額を計上している。
- ・「人件費」には、決算書の使途別分類が「人件費」に該当するもののうち職員に係るもの（職員の手当、非常勤職員の手当及び休職者の手当等）及び決算書の使途別分類が「補助費・委託費」に

該当するもののうち国家公務員共済組合負担金等として支出した額を計上している。

- ・「補助金等」には、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第22条の規定により、災害その他の事由により特に必要となった廃棄物の処理を行うために要する費用の一部補助等に係る支出額を計上している。
- ・「委託費」には、自然環境保全のために講ずべき施策の策定に必要な基本調査を地方公共団体等へ委託した額を計上している。
- ・「交付金」には、独立行政法人環境再生保全機構に対して「公害健康被害の補償等に関する法律」に基づいて交付した額を計上している。
- ・「分担金」には、経済協力開発機構が行う化学品プロジェクト実施のために必要な経費等の分担金を計上している。
- ・「拠出金」には、生物多様性条約事務局が行う生物多様性保全の取組や持続可能な遺伝自然利用の事例収集等の支援に必要な経費等の拠出額を計上している。
- ・「独立行政法人運営費交付金」には、独立行政法人国立環境研究所及び独立行政法人環境再生保全機構に対する運営費交付金を計上している。
- ・「エネルギー対策特別会計への繰入」には、エネルギー需給構造高度化対策に要する費用の財源に充てるため、石油石炭税収入相当額のエネルギー対策特別会計への繰入額を計上している。
- ・「労働保険特別会計への繰入」には、労働保険特別会計に要する費用の財源に充てるため、労働保険特別会計への繰入額を計上している。
- ・「庁費等の支出」には、決算書の使途別分類が「物件費」及び「施設費」に該当の支出のうち、他の科目で計上されていないものを計上している。
- ・「その他の支出」には、決算書の使途別分類が「旅費」及び「その他」に該当する支出並びに単独の科目で表示するには金額の少ないもの等を計上している。
- ・「土地に係る支出」には、当該年度の土地の取得に係る支出額を計上している。
- ・「立木竹に係る支出」には、当該年度の立木竹取得に係る支出額を計上している。
- ・「建物に係る支出」には、当該年度の建物取得に係る支出額を計上している。
- ・「工作物に係る支出」には、当該年度の工作物の取得に係る支出額を計上している。
- ・「建設仮勘定に係る支出」には、当該年度の建設仮勘定に係る支出額を計上している。
- ・「業務収支」には、財源合計から業務支出合計を控除した額を計上している。

(4) その他省庁の財務内容を理解するために特に必要と考えられる情報

- ① 百万円未満切り捨てのため、合計が一致しないことがある。
- ② 百万円未満の計数がある場合には「0」で表示し、該当計数が皆無の場合には「-」で表示している。
- ③ 平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響による国有財産の損害見積額は219百万円である（平成24年9月末時点において報告している国有財産の滅失又は損傷の通知等に基づき集計した額）。

附属明細書

1 貸借対照表の内容に関する明細

(1) 資産項目の明細

① 未収金の明細

(単位：百万円)

内容	相手先	本年度末残高
国有財産貸付	土地等使用許可者（民間団体）	141
弁償及び返納金	地方公共団体等	141
雑入	民間団体等	0
合計		283

② その他の債権等の明細

(単位：百万円)

債権の種類	相手先	本年度末残高	債権の内容等
前渡不動産	財政投融资特別会計特定国有財産整備勘定	8	新施設の引渡しを受けていないが、旧施設を相手先に引継いだもの
合計		8	

③ 貸倒引当金の明細

(単位：百万円)

区分	貸付金等の残高			貸倒引当金の残高			摘要
	前年度末残高	本年度増減額	本年度末残高	前年度末残高	本年度増減額	本年度末残高	
未収金	273	9	283	29	4	34	過去3年間の貸倒実績率に基づき算定している。
徴収停止債権	-	-	-	-	-	-	
履行期限到来等債権	273	9	283	29	4	34	
上記以外の債権	-	-	-	-	-	-	
合計	273	9	283	29	4	34	

④ 固定資産の明細

(単位：百万円)

区分	前年度末残高	本年度増加額	本年度減少額	本年度減価償却額	評価差額 (本年度発生分)	本年度末残高
(有形固定資産)						
国有財産(公共用財産除く)	308,774	4,770	1,516	5,144	△ 2,898	303,986
行政財産	308,774	4,770	1,516	5,144	△ 2,898	303,986
土地	269,770	111	-	-	△ 2,745	267,135
立木竹	1,907	60	2	-	△ 152	1,812
建物	14,186	1,434	536	1,202	-	13,882
工作物	22,395	2,930	464	3,941	-	20,920
船舶	2	-	-	0	-	1
建設仮勘定	512	233	512	-	-	233
物品	1,695	760	35	286	-	2,133
小計	310,470	5,531	1,552	5,430	△ 2,898	306,120
(無形固定資産)						
国有財産	3	-	-	-	0	3
行政財産	3	-	-	-	0	3
特許権	3	-	-	-	0	3
ソフトウェア	37	4	-	17	-	24
電話加入権	18	0	0	-	-	18
小計	58	4	0	17	0	46
合計	310,528	5,535	1,552	5,448	△ 2,897	306,166

(注) 本年度減少額には、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による減少額が含まれている。

⑤ 出資金の明細

ア 出資金の増減の明細

(単位：百万円)

法人名等	前年度末残高	評価差額の戻入	本年度増加額	本年度減少額	評価差額(本年度発生分)	強制評価減	本年度末残高
【市場価格のないもの】							
○株式会社							
日本環境安全事業株式会社	-	-	-	-	-	-	-
○独立行政法人							
独立行政法人国立環境研究所	30,910	7,755	-	-	△ 9,933	-	28,732
独立行政法人環境再生保全機構							
(公害健康被害補償予防業務勘定)	45,889	△ 39,817	-	-	39,777	-	45,849
(基金勘定)	14,027	△ 4,626	-	-	4,669	-	14,070
(承継勘定)	10,716	△ 10,145	-	-	11,683	-	12,255
合計	101,544	△ 46,833	-	-	46,196	-	100,907

イ 市場価格のない出資金の純資産額等の明細

(単位：百万円)

出資先	資産(A)	負債(B)	純資産額(C=A-B)	資本金(D)	一般会計からの出資累計額(E)	出資割合(F=E/D) %	純資産額による算出額(G=C×F)	貸借対照表計上額(国有財産台帳価格)	使用財務諸表
○株式会社									
日本環境安全事業株式会社	78,411	139,094	△ 60,683	10,300	10,300	100.00%	△ 60,683	-	法定財務諸表
○独立行政法人									
独立行政法人国立環境研究所	38,766	10,034	28,732	38,666	38,666	100.00%	28,732	28,732	法定財務諸表
独立行政法人環境再生保全機構									
(公害健康被害補償予防業務勘定)	58,877	13,028	45,849	6,071	6,071	100.00%	45,849	45,849	法定財務諸表
(基金勘定)	119,461	105,391	14,070	9,401	9,401	100.00%	14,070	14,070	法定財務諸表
(承継勘定)	66,366	54,111	12,255	571	571	100.00%	12,255	12,255	法定財務諸表
合計	361,885	321,661	40,224	65,010	65,010	-	40,224	100,907	

(注) 以下の出資金については、本年度もしくは過年度において強制評価減を実施している。

(単位：百万円)

出資先	一般会計からの出資累計額	貸借対照表計上額	資産評価差額	強制評価減実施累計額	強制評価減実施年度
○株式会社					
日本環境安全事業株式会社	10,300	-	-	10,300	平成17年度及び平成18年度
合計	10,300	-	-	10,300	



(2) 負債項目の明細

① 未払金の明細

(単位：百万円)

内容	相手先	本年度末残高
子ども手当(2、3月未払分)	職員	14
合計		14

② 退職給付引当金の明細

(単位：百万円)

区分	前年度末残高	本年度取崩額	本年度増加額	本年度末残高
退職手当に係る引当金	10,120	270	541	10,391
整理資源に係る引当金	5,051	573	90	4,568
国家公務員災害補償年金に係る引当金	282	22	124	384
合計	15,454	866	756	15,344

2 業務費用計算書の内容に関する明細

(1) 組織別の業務費用の明細

(単位：百万円)

	環境本省	地方環境事務所	合計
人件費	8,071	2,483	10,554
賞与引当金繰入額	460	235	695
退職給付引当金繰入額	335	420	756
補助金等	661,614	-	661,614
委託費	11,469	26	11,495
交付金	9,167	-	9,167
分担金	15	-	15
拠出金	6,121	-	6,121
独立行政法人運営費交付金	15,451	-	15,451
エネルギー対策特別会計への繰入	34,100	-	34,100
労働保険特別会計への繰入	80	-	80
庁費等	28,213	2,437	30,650
その他の経費	955	111	1,067
減価償却費	1,422	4,026	5,448
貸倒引当金繰入額	0	3	4
資産処分損益	44	994	1,039
本年度業務費用合計	777,523	10,738	788,261

## (2) 補助金等の明細

(単位：百万円)

名称	相手先	金額	支出目的
<補助金>			
(項) 地球温暖化対策推進費 (目) 地球温暖化対策推進事業費補助金	民間団体等	97	温室効果ガス排出削減・吸収クレジット創出支援事業に要する経費に対する一部補助
(項) 東日本大震災復旧・復興地球温暖化対策推進費 (目) 地球温暖化対策推進事業費補助金	民間団体等	13	節電・電源セキュリティ向上緊急事業に要する経費に対する一部補助
(項) 東日本大震災復旧・復興地球温暖化対策推進費 (目) 環境対応住宅普及促進対策費補助金	一般社団法人環境パートナーシップ会議	72,300	エコポイントの活用による環境対応住宅の普及事業の基金の造成に要する経費の民間団体等に対する補助
(項) 大気・水・土壌環境等保全費 (目) 土壌汚染対策事業補助金	民間団体等	11	土壌汚染の浄化等の対策を促進するために、事業者が金融機関から対策事業費に係る資金の借入をしたことによる借入利子の一部補助
(項) 東日本大震災復旧・復興大気・水・土壌環境等保全費 (目) 放射線量低減対策特別緊急事業費補助金	地方公共団体	72,602	除染計画策定等に要する経費の地方公共団体に対する補助
(項) 廃棄物・リサイクル対策推進費 (目) 産業廃棄物適正処理推進費補助金	(独) 環境再生保全機構	1,500	PCB廃棄物の排出(保管)事業者の処理費用を助成するために創設する基金に対する補助
(項) 廃棄物・リサイクル対策推進費 (目) 産業廃棄物適正処理推進費補助金	地方公共団体	3,011	生活環境保全上の見地から産業廃棄物の不法投棄者不明等の場合、都道府県が行う支障除去等事業に要する費用に対する補助
(項) 廃棄物・リサイクル対策推進費 (目) 産業廃棄物適正処理推進費補助金	(財) 産業廃棄物処理事業振興財団	170	生活環境保全上の見地から産業廃棄物の不法投棄者不明等の場合、都道府県等が行う原状回復事業に対して支援するための基金の造成に必要な経費に対する補助
(項) 廃棄物・リサイクル対策推進費 (目) 災害等廃棄物処理事業費補助金	地方公共団体	254,911	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第22条の規定により、災害その他の事由により特に必要となった廃棄物の処理を行うために要する費用の一部を補助
(項) 東日本大震災復旧・復興廃棄物・リサイクル対策推進費 (目) 災害等廃棄物処理事業費補助金	地方公共団体	14,605	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第22条の規定により、災害その他の事由により特に必要となった廃棄物の処理を行うために要する費用の一部を補助
(項) 東日本大震災復旧・復興廃棄物・リサイクル対策推進費 (目) 災害等廃棄物処理促進費補助金	地方公共団体	50,886	災害廃棄物処理の促進のための基金の造成に要する経費の地方公共団体に対する補助
(項) 東日本大震災復旧・復興廃棄物・リサイクル対策推進費 (目) 放射性物質汚染廃棄物処理事業費補助金	地方公共団体	94	廃棄物処理施設のモニタリングに要する経費の地方公共団体等への補助
(項) 災害対策総合推進調整費 (目) 災害対策緊急事業費補助金	地方公共団体	2	災害対策の総合推進調整に必要な調査等の実施に要する経費の地方公共団体への補助
(項) 廃棄物処理施設整備費 (目) 廃棄物処理施設費補助	地方公共団体	92	廃棄物循環型社会基盤整備等の事業に要する経費の一部補助

(単位：百万円)

名称	相手先	金額	支出目的
(項) 廃棄物処理施設整備費 (目) 廃棄物処理施設費補助	日本環境安全事業(株)	14,107	廃棄物循環型社会基盤整備等の事業に要する経費の一部補助
(項) 廃棄物処理施設整備費 (目) 廃棄物処理施設費補助	民間団体等	1,020	廃棄物循環型社会基盤整備等の事業に要する経費の一部補助
(項) 廃棄物処理施設整備費 (目) 廃棄物処理施設災害復旧費補助	地方公共団体	1	災害により被害を受けた廃棄物処理施設を原形に復旧する事業並びに応急復旧事業に対する補助
(項) 生物多様性保全等推進費 (目) 環境保全施設整備費補助金	民間団体等	66	自然公園内の条件不利地に位置する山小屋等事業者が、公共の補完的役割を担う環境保全施設等の施設整備事業に要する経費に対する一部補助
(項) 沖縄特別振興対策事業費 (目) 沖縄特別振興対策事業費補助金	地方公共団体	170	沖縄振興策を効果的に展開するために実施する特別振興対策事業に要する経費の一部補助
(項) 沖縄特別振興対策調整費 (目) 沖縄特別振興対策事業費補助金	地方公共団体	167	沖縄振興策を効果的に展開するために実施する特別振興対策の総合調整に対する補助
(項) 環境保健対策推進費 (目) 公害保健福祉事業費補助金	(独) 環境再生保全機構	48	「公害保健福祉事業費納付金に対する公害健康被害の補償等に関する法律」第51条に基づく一部補助
(項) 環境保健対策推進費 (目) 自立支援型公害健康被害予防事業補助金	(独) 環境再生保全機構	200	ぜん息の増悪予防・健康回復を支援するための助成事業に要する経費に対する補助
(項) 環境保健対策推進費 (目) 水俣病総合対策費補助金	地方公共団体	8,748	水俣病総合対策に係る医療事業費等に対する一部補助
(項) 環境保健対策推進費 (目) 水俣病総合対策施設整備費補助金	地方公共団体	90	水俣病発生地域の環境福祉対策を推進するため、胎児性水俣病患者等を支援する事業として支援施設等を整備するために必要な経費に対する補助
(項) 環境保健対策推進費 (目) 水俣病対策地方償還費補助金	地方公共団体	154	水俣病対策として熊本県が発行した地方債の償還に要する経費の同県に対する一部補助
(項) 環境保健対策推進費 (目) 水俣病被害者救済円滑化補助金	地方公共団体	13,194	水俣病被害者の救済を円滑に実施するため、財団法人水俣・芦北地域振興財団への熊本県による出資に要する経費の一部補助
(項) 東日本大震災復旧・復興環境・経済・社会の統合的向上費 (目) 地域環境保全対策費補助金	地方公共団体	83,977	地域経済活動の再生を図るため被災地における自立・分散型エネルギーシステム導入のための基金の造成に要する経費の地方公共団体に対する補助
(項) 環境政策基盤整備費 (目) 債権管理回収業務補助金	(独) 環境再生保全機構	3,200	(独) 環境再生保全機構の債権管理回収業務を確実に円滑に実施するために必要な経費の補助
(項) 環境政策基盤整備費 (目) 循環型社会形成推進科学研究費補助金	研究者、法人	52	廃棄物の処理等に関する研究に必要な経費に対する補助
(項) 環境研究総合推進費 (目) 循環型社会形成推進科学研究費補助金	研究者、法人	2,204	廃棄物の処理等に関する研究に必要な経費に対する補助
(項) 独立行政法人国立環境研究所施設整備費 (目) 独立行政法人国立環境研究所施設整備費補助金	(独) 国立環境研究所	76	(独) 国立環境研究所が施行する研究施設等の整備に対する補助
(項) 廃棄物処理施設災害復旧事業費 (目) 廃棄物処理施設災害復旧事業費補助	地方公共団体	4,164	東日本大震災により被害を受けた廃棄物処理施設について、地方公共団体等が施行する災害復旧事業の事業費の一部補助等

(単位：百万円)

名称	相手先	金額	支出目的
<交付金>			
(項) 廃棄物処理施設整備費 (目) 循環型社会形成推進交付金	地方公共団体	45,838	廃棄物の3Rを広域的かつ総合的に推進するため、市町村が策定する循環型社会形成推進地域計画に基づいた廃棄物処理施設の整備事業等に対する金額を交付
(項) 東日本大震災復旧・復興廃棄物処理施設整備費 (目) 循環型社会形成推進交付金	地方公共団体	4,283	大震災の教訓を踏まえた国づくりの推進を図るため市町村が施行する廃棄物処理施設の整備事業に対する交付金
(項) 北海道開発事業費 (目) 循環型社会形成推進交付金	地方公共団体	1,617	廃棄物の3Rを広域的かつ総合的に推進するため、市町村が策定する循環型社会形成推進地域計画に基づいた廃棄物処理施設の整備事業等に対する金額を交付
(項) 東日本大震災復旧・復興北海道開発事業費 (目) 循環型社会形成推進交付金	地方公共団体	473	大震災の教訓を踏まえた国づくりの推進を図るため市町村が施行する廃棄物処理施設の整備事業に対する交付金
(項) 離島振興事業費 (目) 循環型社会形成推進交付金	地方公共団体	2,618	廃棄物の3Rを広域的かつ総合的に推進するため、市町村が策定する循環型社会形成推進地域計画に基づいた廃棄物処理施設の整備事業等に対する金額を交付
(項) 沖縄開発事業費 (目) 循環型社会形成推進交付金	地方公共団体	642	廃棄物の3Rを広域的かつ総合的に推進するため、市町村が策定する循環型社会形成推進地域計画に基づいた廃棄物処理施設の整備事業等に対する金額を交付
(項) 地域再生推進費 (目) 地域再生基盤強化交付金	地方公共団体	1,640	地域再生法により、国は認定地方公共団体に対し、予算の範囲内で金額を交付
(項) 生物多様性保全等推進費 (目) 生物多様性保全推進交付金	民間団体等	98	地域における生物多様性の保全再生に資する活動等に対し、必要な経費の一部を交付
(項) 自然公園等事業費 (目) 自然環境整備交付金	地方公共団体	653	国定公園等の施設を整備するために必要な経費を交付
(項) 地域自主戦略推進費 (目) 地域自主戦略交付金	地方公共団体	165	地域の自由裁量により行う基盤整備等に要する経費に充てるための都道府県に対する交付金
(項) 環境保健対策推進費 (目) 公害健康被害給付支給事務費交付金	地方公共団体	1,159	公害健康被害の補償等に関する法律に基づき、地方公共団体に対し、当該都道府県又は当該市が支弁する費用の2分の1に相当する金額を交付
(項) 環境保健対策推進費 (目) 石綿健康被害救済事業交付金	(独) 環境再生保全機構	479	石綿による健康被害の救済に関する法律に基づき、(独) 環境再生保全機構に対し、給付の支給及び事務処理に要する費用に充てるための資金を交付
合計		661,614	

## (3) 委託費の明細

(単位：百万円)

名称	相手先	金額	支出目的
(項) 地球温暖化対策推進費 (目) 環境保全調査等委託費	民間団体等	287	地球温暖化防止を目的とした調査等の委託
(項) 地球温暖化対策推進費 (目) 認証排出削減量等取得委託費	(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構	689	我が国のエネルギーの利用及び産業活動に対する著しい制約を回避しつつ、京都議定書の約束を履行するため、CDM、JI等の京都メカニズムを活用し、認証された排出削減量等の取得をするための業務を委託
(項) 地球環境保全費 (目) 環境保全調査等委託費	民間団体等	59	オゾン層保護等を目的とした調査等の委託
(項) 地球環境保全費 (目) 政府開発援助環境保全調査等委託費	民間団体	21	アジア地域の途上国のモントリオール議定書遵守のため、途上国の施策実施能力の向上を促す支援の実施等の委託
(項) 大気・水・土壌環境等保全費 (目) 環境保全調査等委託費	(独)国立環境研究所	20	環境大気に関連する各種汚染物質の判定条件設定に資するための情報の収集・加工・評価等の委託
(項) 大気・水・土壌環境等保全費 (目) 環境保全調査等委託費	民間団体等	206	環境大気に関連する各種汚染物質の判定条件設定に資するための情報の収集・加工・評価等の委託
(項) 大気・水・土壌環境等保全費 (目) 環境保全調査等地方公共団体委託費	地方公共団体	347	国設大気測定網による大気汚染の実態を把握するための試料の収集・分析及び施設運営等を委託
(項) 放射能調査研究費 (目) 放射能測定調査委託費	地方公共団体	6	放射性降下物による環境への影響を把握するためのデータ収集等を委託
(項) 廃棄物・リサイクル対策推進費 (目) 環境保全調査等委託費	民間団体等	135	廃棄物系バイオマスについて、モデル実証・評価を行い、合理的な再生利用手法を提示するための調査等を委託
(項) 廃棄物・リサイクル対策推進費 (目) 環境保全調査等地方公共団体委託費	地方公共団体	30	処分場の浸出水、周辺土壌及び地下水についての各基準の効果を検証するための実態調査を委託
(項) 東日本大震災復興・復興廃棄物・リサイクル対策推進費 (目) 放射性物質汚染廃棄物処理業務委託費	民間団体等	199	指定廃棄物の処理及び保管の民間団体への委託
(項) 東日本大震災復興・復興廃棄物・リサイクル対策推進費 (目) 放射性物質汚染廃棄物処理業務地方公共団体委託費	地方公共団体	986	焼却灰等の保管の地方公共団体への委託
(項) 生物多様性保全等推進費 (目) 自然環境保全調査等地方公共団体委託費	地方公共団体	103	国内外での自然共生社会の構築のための地域での自律的な里地里山の保全再生の取組を促進する方策の調査・検討及び海外での自然共生の智慧や伝統等の調査を委託
(項) 生物多様性保全等推進費 (目) 自然環境保全調査等委託費	国立大学法人	34	国内外での自然共生社会の構築のための地域での自律的な里地里山の保全再生の取組を促進する方策の調査・検討及び海外での自然共生の智慧や伝統等の調査を委託
(項) 生物多様性保全等推進費 (目) 自然環境保全調査等委託費	民間団体等	249	国内外での自然共生社会の構築のための地域での自律的な里地里山の保全再生の取組を促進する方策の調査・検討及び海外での自然共生の智慧や伝統等の調査を委託
(項) 生物多様性保全等推進費 (目) 政府開発援助自然環境保全調査等委託費	民間団体等	8	砂漠化対処条約に基づく国際的取組への貢献を果たすため、砂漠化の影響を受ける途上国に対し、技術移転等による支援の実施の委託

(単位：百万円)

名称	相手先	金額	支出目的
(項) 生物多様性保全等推進費 (目) 鳥獣等保護事業委託費	民間団体等	72	希少野生動植物種等指定のための調査等を委託
(項) 生物多様性保全等推進費 (目) 鳥獣等保護事業地方公共団体委託費	地方公共団体	149	絶滅のおそれのある野生動植物の保護対策を確立するための基礎調査及び保護を図るための増殖事業を委託
(項) 化学物質対策推進費 (目) 環境保全調査等委託費	(独)製品評価技術基盤機構	39	化学物質対策を推進するためのPRTR制度運用・データ活用事業等を委託
(項) 化学物質対策推進費 (目) 環境保全調査等地方公共団体委託費	地方公共団体	334	有機ヒ素化合物に係る環境汚染及び健康被害に係る緊急措置事業並びに有機ヒ素化合物の汚染源周辺地域における高濃度対策事業を委託
(項) 環境保健対策推進費 (目) 環境保全調査等委託費	民間団体	86	指定疾病に係わる調査・研究等を行い、今後の医療の適正化等を図るための調査研究等を委託
(項) 環境保健対策推進費 (目) 環境保全調査等地方公共団体委託費	地方公共団体	254	環境保健サーベイランスの構築等に関する調査研究及び一般環境経路による石綿曝露の健康リスク評価に関する調査等を委託
(項) 環境・経済・社会の統合的向上費 (目) 環境保全調査等委託費	民間団体等	24	「地球温暖化を防ぐ学校エコ改修事業」モデル校の支援及び「学校エコ改修」の普及等を委託
(項) 環境政策基盤整備費 (目) 環境保全調査等委託費	国立大学法人	145	環境共生型経済社会の将来像を提示し、戦略的環境政策研究の成果を環境政策等へ活用するための研究等を委託
(項) 環境政策基盤整備費 (目) 環境保全調査等委託費	民間団体等	124	環境共生型経済社会の将来像を提示し、戦略的環境政策研究の成果を環境政策等へ活用するための研究等を委託
(項) 環境政策基盤整備費 (目) 公害調査等委託費	民間団体等	229	重金属等の影響による健康被害に関する調査研究等を委託
(項) 環境政策基盤整備費 (目) 公害調査等委託費	(独)国立環境研究所	63	地球温暖化の影響の監視、評価、情報提供を行うシステムを国内で構築するための調査研究を委託
(項) 沖縄振興総合調査費 (目) 沖縄振興総合調査委託費	民間団体等	2	沖縄県における亜熱帯照葉樹林の地域振興に資する保全と利用のあり方の検討調査を委託
(項) 環境政策基盤整備費 (目) 公害調査等地方公共団体委託費	地方公共団体	122	カドミウム及び砒素の汚染地域における健康影響の実態調査並びに蓄積性有害重金属の汚染による慢性健康影響の追跡調査等を委託
(項) 環境研究総合推進費 (目) 試験研究調査委託費	(独)国立環境研究所	1,232	関係行政機関の試験研究機関等が行う環境研究のための試験研究を委託
(項) 環境研究総合推進費 (目) 試験研究調査委託費	独立行政法人	367	関係行政機関の試験研究機関等が行う環境研究のための試験研究を委託
(項) 環境研究総合推進費 (目) 試験研究調査委託費	国立大学法人	3,483	関係行政機関の試験研究機関等が行う環境研究のための試験研究を委託
(項) 環境研究総合推進費 (目) 試験研究調査委託費	民間団体等	925	関係行政機関の試験研究機関等が行う環境研究のための試験研究を委託
(項) 環境研究総合推進費 (目) 試験研究調査地方公共団体委託費	地方公共団体	59	関係行政機関の試験研究機関等が行う環境研究のための試験研究を委託
(項) 地球環境保全等試験研究費 (目) 試験研究調査委託費	(独)国立環境研究所	362	関係行政機関の試験研究機関等が行う地球環境保全のための試験研究を委託
(項) 地方環境対策費 (目) 国立公園等調査管理委託費	民間団体	26	国立公園の保護管理を図るための検討調査並びに国立公園利用適正化システムの構築を図るための調査等を委託
合計		11,495	

## (4) 交付金の明細

(単位：百万円)

名称	相手先	金額	支出目的
(項) 自動車重量税財源公害健康被害補償費 (目) 公害健康被害補償納付金交付金	(独) 環境再生保全機構	9,167	「公害健康被害の補償等に関する法律」に基づき、(独)環境再生保全機構に対し、当該年度の自動車重量税の収入見込額の一部に相当する額を交付
合計		9,167	

## (5) 分担金の明細

(単位：百万円)

名称	相手先	金額	支出目的
(項) 生物多様性保全等推進費 (目) 政府開発援助国際自然保護連合等分担金	国際湿地保全連合等	2	国際湿地保全連合規約等に基づく分担金
(項) 生物多様性保全等推進費 (目) 経済協力開発機構等分担金	国際湿地保全連合	4	国際湿地保全連合規約に基づく分担金
(項) 化学物質対策推進費 (目) 経済協力開発機構等分担金	経済協力開発機構	7	経済協力開発機構が化学品プロジェクト実施のために必要な経費等の分担金
合計		15	

## (6) 拠出金の明細

(単位：百万円)

名称	相手先	金額	支出目的
(項) 地球温暖化対策推進費 (目) 経済協力開発機構等拠出金	気候変動枠組条約事務局	101	国際排出量取引が正常に実施されているかどうかをチェックする取引ログ等、国際データ管理システムの構築に必要な経費等の拠出
(項) 地球環境保全費 (目) 経済協力開発機構等拠出金	経済協力開発機構等	918	経済協力開発機構が行う気候変動関連プログラム、環境保全成果レビュープログラム及び化学品プログラム等実施のために必要な経費等の拠出
(項) 地球環境保全費 (目) 政府開発援助国際自然保護連合等拠出金	国連環境計画	261	国際連合環境計画本部及び国際環境技術センターの運営経費並びにアジア太平洋地域事務所が行う持続可能な開発に関する革新的取組ショーケースプロジェクト促進事業実施のために必要な経費等の拠出
(項) 大気・水・土壌環境等保全費 (目) 経済協力開発機構拠出金	国際連合地域開発センター等	318	UNCRDが行うアジア地域におけるESTの実現、交通環境問題の解決に貢献するために必要な経費等の拠出
(項) 廃棄物・リサイクル対策推進費 (目) 経済協力開発機構等拠出金	バーゼル条約事務局等	47	バーゼル条約事務局が行うコンピュータ機器廃棄物適正管理事業等に対する拠出
(項) 廃棄物・リサイクル対策推進費 (目) 政府開発援助国際連合地域開発センター拠出金	国際連合地域開発センター	24	「アジア3R推進フォーラム」の開催及び3R国家戦略に基づく取組を促進するためモデル的事業計画の策定等に対する拠出
(項) 生物多様性保全等推進費 (目) 政府開発援助国際自然保護連合等拠出金	生物多様性条約事務局等	4,006	生物多様性保全の取組や持続可能な遺伝資源利用の事例収集等を支援するための経費等の拠出
(項) 生物多様性保全等推進費 (目) 経済協力開発機構等拠出金	カルタヘナ議定書事務局等	223	地球環境保全に関する積極的な国際的貢献と連携の確保に資するために必要な経費等の拠出
(項) 化学物質対策推進費 (目) 経済協力開発機構等拠出金	残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約事務局等	15	残留性有機汚染物質による汚染を防止するために設置された事務局の運営に必要な経費等の拠出
(項) 環境・経済・社会の統合的向上費 (目) 経済協力開発機構等拠出金	国連大学	160	国連大学が行う持続可能な開発のための教育10年構想事業に対する拠出
(項) 環境政策基盤整備費 (目) 経済協力開発機構等拠出金	国連環境計画事務局	44	水銀によるリスクの削減に係る条約の制定を推進するための国連環境計画への拠出金
合計		6,121	

## (7) 独立行政法人運営費交付金の明細

(単位：百万円)

相手先	金額	支出目的
(独) 国立環境研究所	13,522	「独立行政法人通則法」に基づき、予算の範囲内において、独立行政法人国立環境研究所に対し、その業務の財源に充てるために必要な金額の全部又は一部に相当する金額を交付
(独) 環境再生保全機構	1,928	「独立行政法人通則法」に基づき、予算の範囲内において、独立行政法人環境再生保全機構に対し、その業務の財源に充てるために必要な金額の全部又は一部に相当する金額を交付
合計	15,451	



3 資産・負債差額増減計算書の内容に関する明細

(1) 財源の明細

① 主管の財源の明細

(単位：百万円)

款	項	相手先	金額
国有財産利用収入	国有財産貸付収入	土地等使用許可者等	498
	国有財産使用収入	個人等	169
納付金	雑納付金	独立行政法人	1,174
諸収入	許可及び手数料	民間団体等	3
	弁償及び返納金	地方公共団体等	2,032
	物品売払収入	民間団体等	0
	雑入	民間団体等	23
合計			3,901

(2) 無償所管換等の明細

(単位：百万円)

区分	相手先	金額	資産等の内容	所管換等の理由	備考
財産の無償所管換等 (受)	国土交通省	0	建物	地盤沈下・地下水位観測用のため	
		0	工作物		
	小計	0			
国有財産台帳価格の誤謬訂正等により生じた増減		38	土地	国有財産台帳の誤謬訂正	
		0	立木竹		
		507	建物		
		462	工作物		
小計	1,008				
その他		0	工作物	種別換	
		△ 0	その他	管理換	
		△ 42	建設仮勘定	資産の除却を行ったため	
	小計	△ 41			
合計		967			

(3) 資産評価差額の明細

(単位：百万円)

区分	評価差額の戻入	本年度発生額	本年度増減額	評価差額の発生原因
有形固定資産				
国有財産（公共用財産除く）	-	△ 2,898	△ 2,898	
行政財産	-	△ 2,898	△ 2,898	
土地	-	△ 2,745	△ 2,745	国有財産台帳の価格改定に伴う評価差額
立木竹	-	△ 152	△ 152	国有財産台帳の価格改定に伴う評価差額
無形固定資産				
国有財産	-	0	0	
行政財産	-	0	0	
特許権	-	0	0	国有財産台帳の価格改定に伴う評価差額
出資金	△ 46,833	46,196	△ 636	
(市場価格のないもの)	△ 46,833	46,196	△ 636	国有財産台帳の価格改定に伴う評価差額
合計	△ 46,833	43,298	△ 3,534	

4 区分別収支計算書の内容に関する明細

(1) 財源の明細

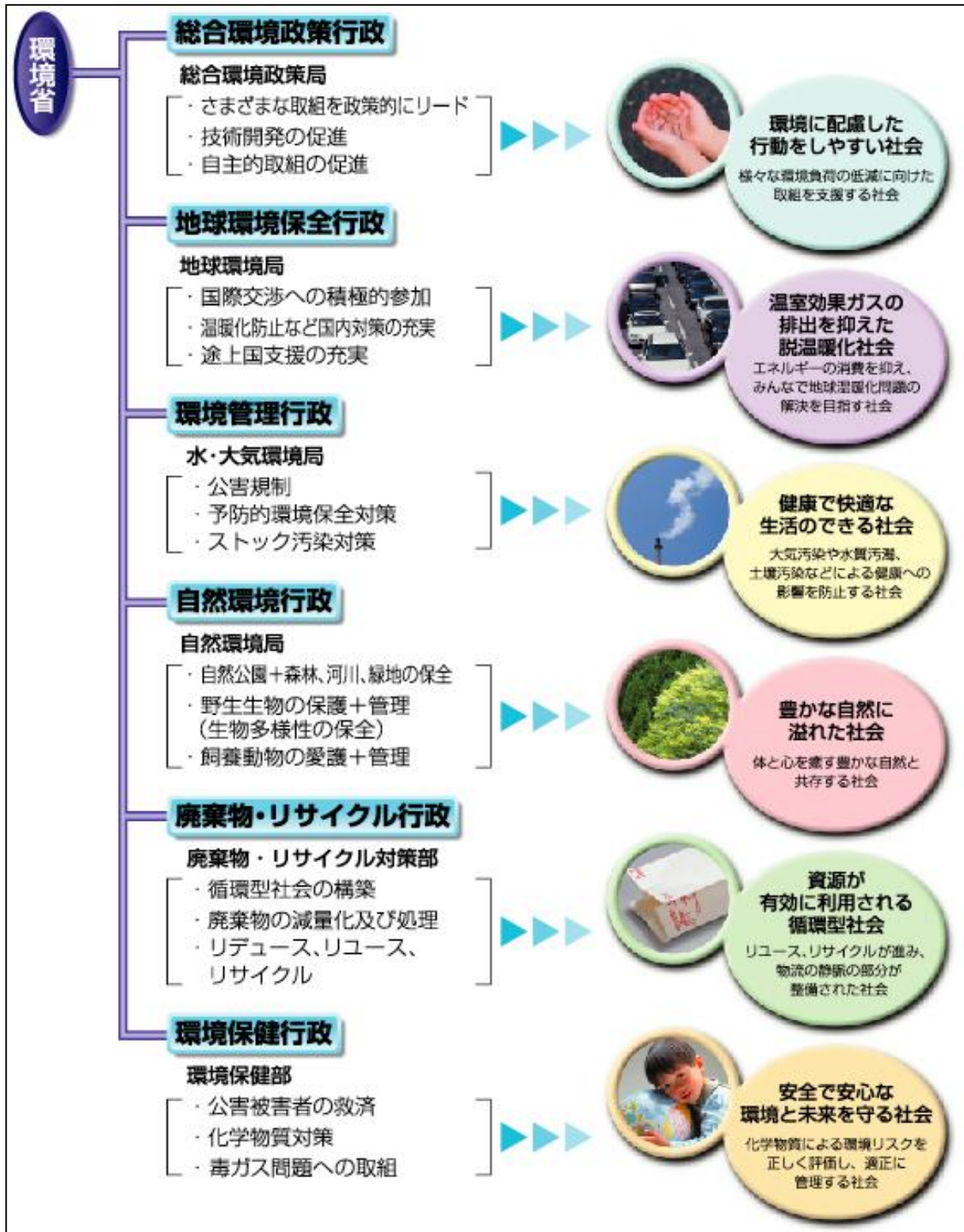
① 主管の収納済歳入額の明細

(単位：百万円)

款	項	相手先	金額
国有財産利用収入	国有財産貸付収入	土地等使用許可者等	479
	国有財産使用収入	個人等	169
	小計		649
納付金	雑納付金	独立行政法人	1,174
諸収入	許可及び手数料	民間団体等	3
	弁償及び返納金	地方公共団体等	2,042
	物品売払収入	民間団体	0
	雑入	民間団体等	23
	小計		2,069
合計			3,892

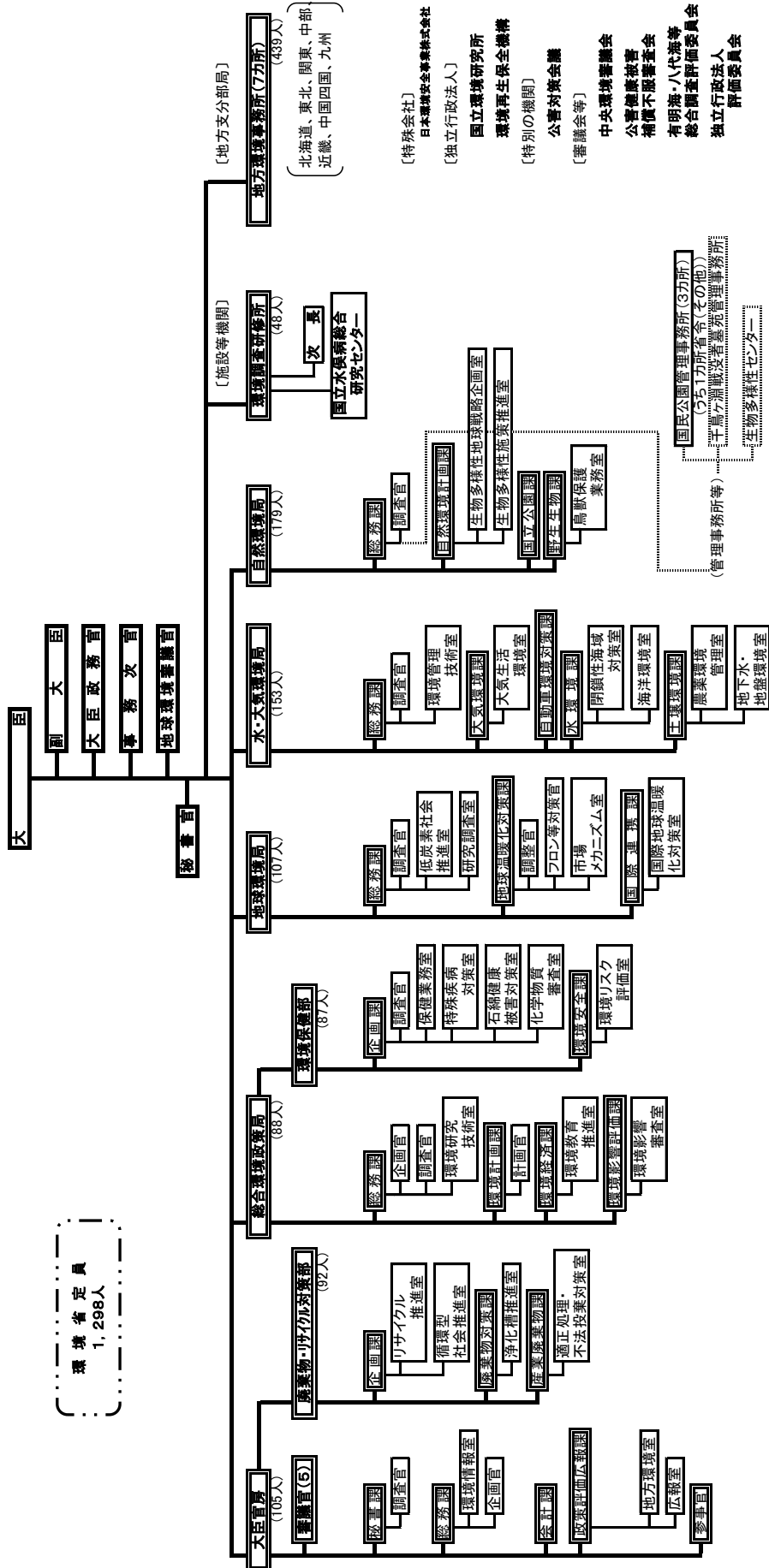
1 環境省の所掌する業務の概要

環境省は、地球環境保全、公害の防止、自然環境の保護及び整備その他の環境の保全（良好な環境の創出を含む。）を図ることを任務とする。



2 環境省の組織及び定員

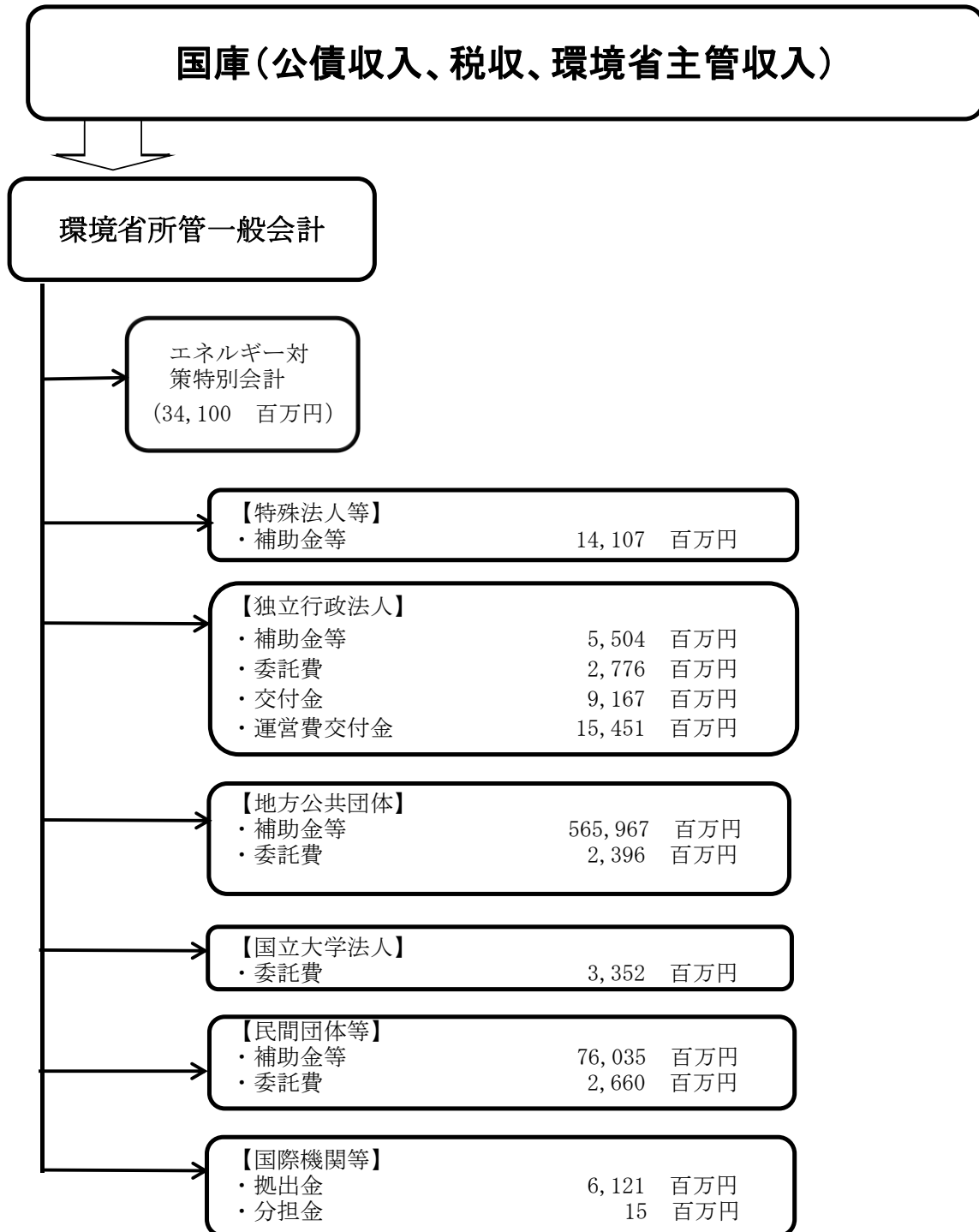
環境省機構図 (平成23年度末)



3 環境省における会計・独立行政法人等との間の財政資金の流れ

(単位：百万円)

環境省は、地球環境保全、公害の防止、自然環境の保護及び整備その他の環境の保全を図ることを任務とし、環境省所管一般会計を通じて、総合的・一体的に施策を推進している。



#### 4 平成23年度一般会計の歳入歳出決算の概要

(歳入)

歳入予算の実行状況は、当初予算額2,491百万円に対し、平成23年度の収納済歳入額は3,892百万円である。収納済歳入額の主なものは、国有財産利用収入として国立公園集団施設地区内の当省所管の国有地を宿泊施設敷等に使用許可したことによる使用料並びに国民公園新宿御苑の入場料収入である。また、諸収入として、補助金、交付金の精算確定による超過交付分の返納並びに関係等の給与一部返納金による収入があった。

(歳出)

歳出予算の執行状況は、当初予算額200,926百万円に対し、予算補正追加額1,199,052百万円、予算補正修正減少額3,024百万円、内閣府等からの予算移替増加額8,697百万円、厚生労働省等への予算移替減少額632百万円、前年度繰越額16,742百万円、予備費使用額10,545百万円で、歳出予算現額は1,432,306百万円である。

この歳出予算現額に対する平成23年度の支出済歳出額は785,546百万円となっており、(項)東日本大震災復旧・復興廃棄物・リサイクル対策推進費、(項)東日本大震災復旧・復興大気・水・土壌環境等保全費等の翌年度繰越額が607,023百万円で、不用額は39,736百万円である。

平成23年度における一般会計の決算の計数を表示すると、次のとおりである。

区 分 (部・款)	収納済歳入額
16 環境省主管合計	3,892
雑収入	3,892
国有財産利用収入	649
納付金	1,174
諸収入	2,069

区 分 (組織・項)	支出済歳出額	翌年度繰越額
16 環境省所管合計	785,546	607,023
(組織) 環境本省	780,231	606,978
001 環境本省共通費	11,301	571
002 地球温暖化対策推進費	2,276	300
027 東日本大震災復旧・復興地域温暖化対策推進費	72,313	1,709
003 石油石炭税財源エネルギー需給構造高度化対策費エネルギー対策特別会計へ繰入	34,100	-
004 地球環境保全費	1,825	-
005 大気・水・土壌環境等保全費	5,657	-
028 東日本大震災復旧・復興大気・水・土壌環境等保全費	74,271	125,808
697 放射能調査研究費	651	-
006 廃棄物・リサイクル対策推進費	261,934	78,893
029 東日本大震災復旧・復興廃棄物・リサイクル対策推進費	66,929	362,328
828 東日本大震災復旧・復興推進費	-	131
007 廃棄物処理施設整備費	61,117	12,789
030 東日本大震災復旧・復興廃棄物処理施設整備費	4,283	8,277
040 東日本大震災復旧・復興放射性物質除去土壌等管理費	494	504
745 北海道開発事業費	1,617	4
771 東日本大震災復旧・復興北海道開発事業費	473	-
739 離島振興事業費	2,618	18
645 沖縄開発事業費	642	563
613 地域再生推進費	1,640	0
008 生物多様性保全等推進費	7,699	854
034 生物多様性保全等推進費	63	-
009 環境保全施設整備費	354	31
809 地域自主戦略推進費	165	11
822 東日本大震災復旧・復興推進調整費	-	12
633 沖縄特別振興対策事業費	170	-
661 沖縄振興総合調査費	2	-
010 自然公園等事業費	9,331	3,990
035 東日本大震災復旧・復興自然公園等事業費	83	512
618 災害対策総合推進調査費	27	-
629 沖縄特別振興対策調整費	167	-
011 化学物質対策推進費	1,918	1,654

(単位：百万円、単位未満切り捨て)

区 分 ( 組 織 ・ 項 )	支出済歳出額	翌年度繰越額
012 環境保健対策推進費	24,656	-
036 東日本大震災復旧・復興環境保健対策推進費	9	-
013 自動車重量税財源公害健康被害補償費	9,167	-
014 環境・経済・社会の統合的向上費	887	-
037 東日本大震災復旧・復興環境・経済・社会	83,979	-
015 環境政策基盤整備費	7,550	1,596
038 東日本大震災復旧・復興環境政策基盤整備	-	308
016 環境調査研修所	1,255	-
017 環境調査研修所施設費	36	35
018 独立行政法人環境再生保全機構運営費	1,928	-
019 独立行政法人国立環境研究所運営費	13,522	-
020 独立行政法人国立環境研究所施設整備費	76	260
039 東日本大震災復旧・復興独立行政人国立環	-	298
022 環境研究総合推進費	7,970	-
021 地球環境保全等試験研究費	362	-
023 石綿健康被害救済事務費労働保険特別会計 へ繰入	81	-
025 廃棄物処理施設整備事業調査諸費	4	-
024 自然公園等事業工事諸費	437	1
026 廃棄物処理施設災害復旧事業費	4,164	5,507
(組織) 地方環境事務所	5,314	45
031 地方環境事務所共通費	3,675	-
032 地方環境事務所施設費	58	45
033 地方環境対策費	1,581	-
698 放射能調査研究費	0	-

## 5 公債関連情報

一般会計の公債の発行・管理は財務省の所掌する業務であるため、公債及び利払費等については財務省に計上されている。しかし、各省庁の業務実施の財源の一部は公債で調達されていることから、各省庁の負担と考えられる公債関連の計数を複数の仮定計算に基づき算定し、公債関連情報として開示している。仮定計算に基づく数字であるため、各省庁の省庁別財務書類に負債計上するものではない。

① 財務省において計上されている会計年度末の公債残高、当該年度に発行した公債額（借換債を除く）及び当該年度の利払費は以下のとおりである。

・会計年度末の公債残高	<u>6,374,795 億円</u>
・当該年度に発行した公債額	<u>427,979 億円</u>
・当該年度の利払費	<u>74,422 億円</u>

② 財務省において計上されている①の計数を各省庁の公債発行対象経費及び歳出決算額を基礎として各省庁に配分を行った場合、当省に配分される額は以下のとおりである。

・会計年度末の公債残高のうち当省配分額	<u>63,794 億円</u>
・当該年度に発行した公債額のうち当省配分額	<u>9,635 億円</u>
・当該年度の利払費のうち当省配分額	<u>710 億円</u>